

タンク関連用語集

積水工事苑

第 4 版

積水アクアシステム株式会社
タンクシステム事業部

はじめに

弊社は、給水タンクに関する様々な用語を正しく理解し、これらの用語を用い、関係する数多くの人々と正確な情報交換を行うことは、タンクの販売に携わる全ての人々にとって非常に重要なことである。との認識のもとで当該「積水工事苑」を編集し、弊社独自で運用して参りました。

今回の再編にあたり、折角の機会ですのでホームページを閲覧される皆様にも活用頂ければと思い公開させて頂きました。よって、用語の表現は、世間一般に表現されたものと一部違ったものもございます。ご了承下さいませ。最後に、この用語集が皆様の業務の一助になりますことを願うものです。

令和元年 10 月
タンクシステム事業部一同

〈目 次〉

あ	い	う	え	お
1	7	10	12	18
か	き	く	け	こ
21	25	29	32	35
さ	し	す	せ	そ
41	46	55	59	61
た	ち	つ	て	と
62	67	69	70	73
な	に	ぬ	ね	の
75	76	76	77	78
は	ひ	ふ	へ	ほ
78	82	85	88	90
ま	み	む	め	も
94	95		96	97
や		ゆ		よ
97		98		99
ら	り	る	れ	ろ
100	101	102	102	104
わ				
105				

RC 構造（アール・シー——）

鉄筋コンクリート構造のこと。RC は Reinforced Concrete の略。コンクリートに鉄筋を入れ強化したもの。鋼がコンクリートの中でさびず、両者の付着が大きく膨張係数もほぼ等しいので、鉄筋を入れることで、引張り、振動、衝撃に対する抵抗を増大させたものである。

RS/RSD**（アール・エス/アール・エス・ディ）**

当社、円筒型一体型タンクの形式。RS 型が「単板」RSD 型が「サンドイッチ」構造。品揃えは呼称 0.5 m³～6 m³迄の 8 機種。

RT/RTD**（アール・ティー/アール・ティー・ディ）**

当社、円筒型タンクの形式。RT 型が「単板」RTD が「サンドイッチ」構造。現在は廃番になっている。

RB（アール・ビー）

丸鋼のこと。Round Bar の略。丸鋼の他に、平鋼・角鋼・六角鋼などがある。（「棒鋼」参照）

IX パネル（アイ・エックス——）

当社 FRP パネルタンクのパネル種類の 1 つ。遮光性能を高めるため、黒色のシートを中間に挿入し積層したパネルのこと。主として海外仕様。現在は廃止になっている。

IT（アイティ）

パソコンや携帯電話などを利用した情報通信技術。インターネット技術の確立により、世界中のパソコンが一つのネットワークにつながるようになった。現在では、テキスト文字や画像データはもちろん、図面、動画など大容量のデジタルデータをやり取りすることも可能になった。

IPF（アイ・ピー・エフ）

「氷蓄熱」槽の製氷率のことで、Ice Packing Factor の略。槽の全容量に対する氷容量の比。

IPF センサー

IPF を測定するセンサーのこと。

ANSI 規格（アンシー——）

米国の鋳工業製品に関する国家規格。American National Standards Institute の略。

アース

一般的には、電気装置の一部と大地を導線で連絡することを言うが、タンク関連としては、「電極座」に取付けられる電極棒の中で、最も長いものを言う。

（「電極座」・「満水警報」・「減水警報」参照）

アイスジェネレーター

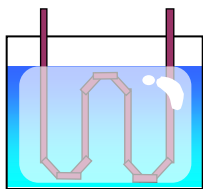
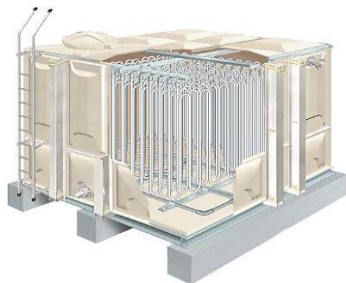
「氷蓄熱」システムに用いられる製氷用冷凍機のこと。特殊な不凍液を用い、クリスタルリキッドアイスを作る。

現在は廃止になっている。

アイスティック

夜間電力を利用した氷蓄熱槽（当社、商品名）タンクには水を貯め、製氷コイルを充填し、コイル内にはブライン（不凍液）を流して氷をコイルに付着させる。割引が適用される夜間電力で氷を生成し、昼間の冷房用の熱源として使用する。

通称：スタティック型氷蓄熱槽

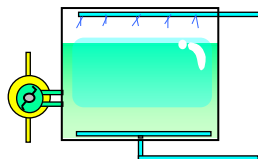


アイスオンコイル（内融式）

アイスレージ

夜間電力を利用した氷蓄熱槽（当社、商品名）タンクに不凍液を貯め、シャーベット状の氷を冷凍機で生成し、タンクに蓄える、割引が適用される夜間電力で氷を生成し、昼間の冷房用の熱源として使用する。

通称：ダイナミック型氷蓄熱槽

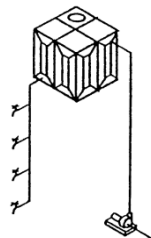


シャーベット状氷

アイソメ図

配管の状態などを立体的に表現した透視図。

鳥かん図・配管斜向図ともいう。



アイテム

処理すべき一件分のデータのこと。

アイナット

吊り還付きのナットのこと。



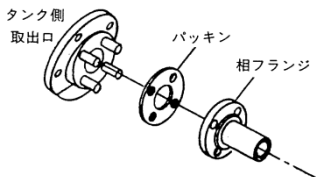
アイビーム

I 形鋼。アルファベットの I 字形の断面をもつ鋼材で、圧延により形成する。

（「形鋼」参照）

相フランジ（あい——）

タンク関連用語としては、「フランジ」式取出口にパイプを接続する際に必要な、パイプ側の「フランジ」のこと。



アイボルト

吊り還付きのボルトのこと。



アウトサイダー

加盟外企業。価格協定、生産協定など独占的な取り決めに参加していない独立企業のこと。

アウトプット

出力ともいい、コンピュータによる情報処理に於いて処理されたデータをコンピュータから取り出すことを言う。

アウトリガー

作業時の転倒を防止するため、レッカー車の車体下部に取り付けられた脚のこと。油圧により伸び縮みし、作業時には車輪を地面より浮き上がらせる働きをする。尚通常は車幅寸法内に収納されている。



アカウント

端末やネットワークサービスを利用するための権利をユーザーID などの形態で表現したもの。

アクア

水のこと。

アクセスタイム

コンピュータは情報を読み込んだり、演算したり、また書き出したりするのに多少の時間がかかる。この時間を「アクセスタイム」とか「呼び出し時間」と呼ぶ。

アクリルフォーム

アクリル樹脂の独立発泡体。「サンドイッチ構造」の芯材に用いる。高い断熱性能がある。

(同類語「ウレタンフォーム」)

足場（あしば）

工事を行う場合に、仮設作業床や作業員の通路として、また材料や架構中の部材などを支える目的で構築された木製または鋼製の仮設物をいう。使用目的により、外部足場・天井足場・養生足場などがある。



足場クランプ（あしば——）

鋼管足場の組立の交差部分に用いる接続用継手、緊結金具ともいう。

アスファルト防水

「屋上防水」の工法的一种で、アスファルトを屋上全面に塗布し防水する。尚、この工事がタンクの組立日に行われると、部材の運び込みが行えない事があるので、納期の打ち合わせに際しては、その日に防水工事の無いことを確認すること。

アスベスト

アスベストとは石綿の事であり、天然に産する繊維状けい酸塩鉱物で「せきめん」、「いしわた」と呼ばれている。現在では原則として製造等が禁止されている。

アセトン

有機溶材の一種。通常「ハンドレ（手積み積層）工法」の際に、樹脂を塗布する刷毛やローラーの洗浄に使用する。尚、強い引火性があり、取扱いには注意が必要。（「有機溶剤」参照）

遊び（あそ——）

ハンドルの「遊び」と同じ意味で、動きや寸法のゆとりのことをいう。

圧縮（あっしゅく）

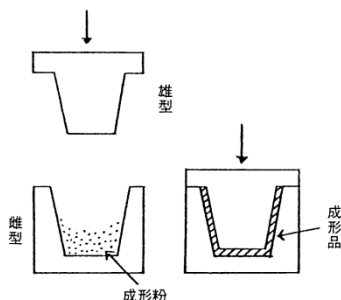
物体に圧力を加えてその容積を縮めること。

圧縮応力（あっしゅくおうりょく）

圧縮荷重によって生じる応力。単位面積当たりの荷重で表す。たとえば、圧縮荷重 $W\text{kg}$ 、断面積 $A\text{mm}^2$ であれば、圧縮応力 σ （シグマ）は $\sigma = W/A$ (kg/mm^2) で表される。

圧縮成形（あっしゅくせいけい）

プラスチック成形方法の一種。成形材料を金型に入れ、圧力と熱をかけて自動または手動のプレスで成形する方法。この時の圧力を成形圧力といい、また樹脂を可塑化または硬化するのに要する温度を成形温度という。また硬化が完了するまで加圧、加熱に要する時間を硬化時間（curing time）とか、成形時間（molding time）という。



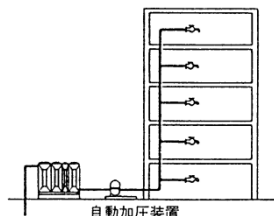
圧力式水位センサー

（あつりょくしきすいー）

センサ内に圧力トランスミッタ（水圧計）が搭載されている。通常は、タンク接水部分（側面・底面）設置し、水圧の計測値を水位に自動換算することによりタンクの水位を監視する。

圧力タンク方式（あつりょく—ほうしき）

給水方式の一種。水道本管から引込み管などにより水道水を受水槽に貯水した後、給水ポンプで水を圧力水槽へ送り、水槽内の空気を圧縮、加圧し、その圧力により水を建物内の所要箇所に供給する方式。（比較「高架タンク方式」）



圧力計（あつりょくけい）

液体や気体の圧力を示すメーターのこと。

圧力水槽（あつりょくすいそう）

水や湯を加圧し、密閉状態で貯めるタンク。圧力容器とも呼ばれる。このタンクの内面には、建物の高さ以上に給水可能な高水圧が作用し、パネルタンクでは製作不可能で、鉄やステンレスの一体溶接型で製作される。また、製作後は圧力容器としての国の検査を受け、圧力に対して十分な強度がある事を認定してもらう必要がある。

アフターサービス

商品を販売した後で、その商品に対して行う一切のサービスをいう。

網入りガラス（あみい——）

割れによる散乱を防止するため、金属製の網が挿入されたガラスのこと。「ポンプ室付受水槽」のポンプ室ドアの上半分に使われる。

アンカーセット

タンクを架台に固定する「据付金具」のこと。「アンカーボルト」と混同せぬように注意。



アンカーボルト

架台をコンクリート基礎に固定するためのボルトのことで、ボルト先端の形状により、J 型アンカー・L 型アンカー及びあと施工（接着系）アンカーの 3 種がある。

暗渠（あんきょ）

地下に埋設した人工の水路のこと。水路が堤防、道路、鉄道の築堤などを横切る時に設ける。

アングル

①断面が L 字形の鋼材のこと。

L-65×65×6 と表示した場合、L 型の一辺の長さが 65mm で、板厚が 6mm のアングル材であることを意味する。（同意語「山形鋼」）

②角度・方向の意味

安全管理者（あんぜんかんりしゃ）

職場の安全管理を専門に行う担当者のこと。従業員が安全な職場で、安心して働けるように、安全管理を専門に担当する者を置くことが労働安全衛生法により定められている。

安全書類（あんぜんしゅるい）

下請け業者が現場に入る際に元請業者に提出する書類の事。名の通り「安全に作業をするために必要な書類」であり、安全管理をしていると証明する書類にもなる。

主要なものでは「作業員名簿」、「再下請通知書」、「持込機器等使用届」等で上げられる。

近年はグリーンサイト（グリーンファイルクラウド上で簡単に作成・提出・確認できるサービス）での提出が主流になっている。

安全帯（あんぜんたい）

正式には墜落制止用器具と言い、従来からの胴ベルト型とフルハーネス型の2種類がある。建設業では5mを超える高所作業ではフルハーネス型の着用が必要で、作業床のない場所での作業では特別教育を受講しておかなければならない。

安全弁（あんぜんべん）

ボイラの取付部品の1つ。ボイラの上部に取付け、ふつう最高使用圧力を越すこと4%以内で、自動的に弁の口を開いて蒸気を放出し圧力を下げてボイラの安全をはかる装置。構造により、てこ安全弁。おもり安全弁・ばね安全弁の3種がある。

安全帽（あんぜんぼう）

ヘルメットのこと。

安全率（あんぜんりつ）

材料の極限強さと許容応力との比。設計の際、部材内に生じる応力を材料の極限強さを安全率で除した値の範囲内に止めるようにする。

EPT（イー・ピー・ティー）

合成ゴム的一种。エチレン・プロピレンラバーの略。「ライニングボルト」のボルト頭部の被覆に用いる。

F パネルタンクの平パッキンにも使用されている。

ESG（イー・エス・ジー）

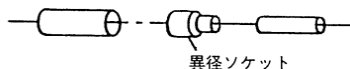
Environment Social Governance

“E”はエネルギー使用量や二酸化炭素（CO₂）排出量の削減など環境面への配慮を意味し、“S”のカテゴリーには、ダイバーシティやワーク・ライフ・バランスへの取り組みが含まれる。そして“G”にあてはまるのは、資本効率への意識の高さや情報開示の充実などの要素。社内的には、各部門との連携やダイバーシティ関連で使用されることが多い。

異径ソケット（いけい——）

口径の異なる2種のパイプを接続する継手のこと。溶接タイプその他、差込み、ねじ込みタイプがある。

（同類語：「レジュースー」「コンセントリックレジュースー」「インクリーザー」）



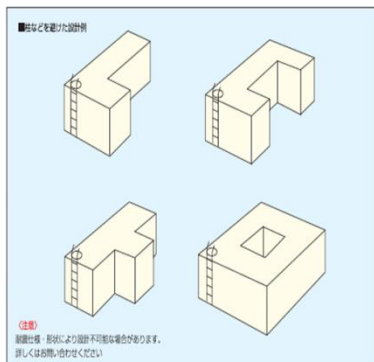
い

ET（イー・ティー）

当社、鋼板製膨張タンク・消火用補給水槽の型式。

異形タンク（いけい——）

平面や側面の形状が四角形ではなく、L字型や凸型凹型になったタンクのこと。



意見調査（いけんちょうさ）

商品の品質や販売政策などについて、消費者や取引先の意見を求め、製品の改善、開発やサービスの向上の資料とすること。

井水（いすい）

井戸水のこと。

イソ系樹脂（——けいじゅし）

耐食ポリエステル樹脂の一種。正式には「イソフタル酸系樹脂」という。他に、「ビスフェノール系樹脂」「ビニルエステル系樹脂」があり、「イソ」「ビス」「ビニルエステル」の順で耐食性能が高い。

（同類語：「オルソフタル酸系樹脂」）

F パネルタンクのパネルの原料となっている。

委託販売（いたくはんばい）

売主が商品を販売代行機関に委託し、販売額に対して一定の口銭を支払う販売方法。（代理店販売ともいう）

一次店（いちじてん）

流通販売組織において、メーカーから最初に物を購入し販売する店のこと。

（比較：「二次店」「した店」）

一括発注（いっかつはっちゅう）

「建設工事」と「設備工事」など他の工事とを一括して発注すること。

溢水（いっすい）

タンクから溢れた水のこと。

溢水口（いっすいこう）

溶液のタンク内部への注入が止まらなくなった時、溶液の溢れた分を排水口などへ導くためのパイプ（溢水管）を接続する取出口。（同義語：「オーバー・フロー」）

一体型（いったいがた）

ボルトで組み立てるパネルタンクと違いFRP で一体に成形されたタンクのこと。SE/SED 型と RS/RSD 型が現在販売している一体型タンクである。

一体成形（いったいせいけい）

FRP タンクの場合、主として「一体型」のタンクを成形する方法。製品のある部分だけを成形するのではなく、全体を同時に成形すること。

一般競争入札

(いっばんきょうそうにゆうさつ)

工事請負人を選定する場合、一般に公開され、工事の請負を希望する者が、指名や資格などの制限がなく、自由に入札に参加できる入札方法。

インジェクション成型 (射出成型)

(——せいけい (しゃしゅつせいけい))

材料を射出する部分と、成形する部分から構成されている機械なので「射出成形」と呼ばれます。材料のプラスチックを溶かして、金型という枠に流し込み (= 射出)、高い圧力をかけて製品を形作る成型方法のこと。

タンク内部タラップ (塩ビ製) などを使用されている。

イニシャルコスト

設備投資等、最初に発生する費用のこと。

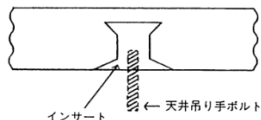
(比較: 「ランニングコスト」)

インクリーザー

「レジャーサー」(異形ソケット) の一種で、口径差の大きいものをいう。

インサート

コンクリート打ちのあと、天井吊り手ボルトなどをねじ込むため、予めコンクリートの中に埋込む鉄製の部品



インチネジ

ネジ部の寸法規格がインチサイズのことをいう。

(比較: 「ミリネジ」)

インパクトレンチ

ボルトを締め付ける道具のこと。パネルタンクの組立には電動インパクトレンチを用い、作業効率を高めている。尚、電動インパクトレンチの使用時には、かなり大きな騒音が発生するので、既設の学校や病院などでパネルタンクの組立を行う際には、騒音が発生する旨、予め客先に申し出ておくこと。

(同意語: 「ナットランナー」)



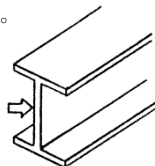
う

ウインチ

胴のまわりに網を巻き付けながら、たぐりよせ、重い物を引張ったり、引き揚げたりする巻揚げ機。

ウェブ

曲げ材において主として「せん断力」を受け持つ部分。一般には、I 形鋼や H 形鋼の下図の部分さを。

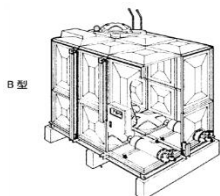


ウォーターハンマー

管内部の水が管を打つこと。水撃ともいう。給水管における水撃は、比較的流速の速い場合に、水源の涸渇等管内流水が何らかの原因で急に止まった場合におこる。

ウォステム

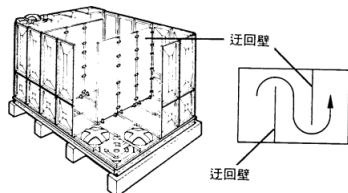
当社タンクの商品名。タンク内部に水中ポンプ（荏原製）を内蔵した受水槽のこと。WSシリーズ：水槽＋水中ポンプ（A型：縦置きタイプ）・（B型：横置きタイプ）SBシリーズ：水槽＋水中ポンプ＋自動給水装置。現在は廃番となっている。



迂回壁（うかいへき）

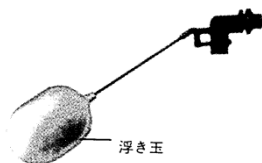
タンク内部に停滞水が発生せぬよう、図のように水の滞留を防ぐ目的で取付ける板のこと。尚、この壁には原理的に静水圧は作用しない。

（比較「整流板」「仕切板」「越流壁」）



浮き玉（うきだま）

ボールタップの先端に取付けられた球型の玉。



雨水槽（うすいそう）

雨水を貯留するためのタンクのこと。雨水利用（雨水を雑用水などに利用）する設備に必要。

内梯子（うちばしご）

タンク内部に取付けた梯子のこと。水タンクの場合、材質は塩化ビニル。タンク高さ1.0m^Hのタンクへの取付けは「オプション仕様」。内部タラップともいう。

打放しコンクリート（うちはな——）

コンクリート外面にタイル、モルタルなどの仕上げをほどこさず、型枠の木目などを残した表面をそのまま仕上げとするコンクリートのこと。

内補強（うちほきょう）

パネルタンクの補強構造の一つで、タンク内部に補強材を取付け、水の重み（水压）を支持する構造のものをいう。「内部補強」ともいう。（反対語：「外補強」）
当社でも旧耐震仕様初期までは内補強構造を採用していたが、現在は外補強構造を採用している。



埋込みアンカーボルト（うめこみ——）

生コンクリート充填時に、予めアンカーボルトを定められた位置にセットしておき、コンクリートの硬化後には、既にアンカーボルトが写真の様に上に出ているものをいう。尚、この場合、アンカーボルトの埋込位置には、高い寸法精度が必要。



ウレタンフォーム

ウレタン樹脂の独立発泡体。断熱性能が高い。（同類語「アクリルフォーム」）

え

AES 樹脂（——じゅし）

アクリロニトリル・エチレン-プロピレン-ジエン・スチレンの略。

当社、フォームパネルタンクの外装板の材質。

AV パッキン（エー・ヴィー——）

旭有機材（メーカー名）製の耐食パッキンのこと。

SE/SED（エスイー/エスイーディー）

当社、消火用補給水槽、膨張タンクの型式。SE は単板形、SED はサンドイッチ形を示す。

SS（エス・エス）

①鋼材の材質種類を示す記号。「一般構造用圧延鋼材」のこと。（JIS G3101）

②浮遊物質。粒径 2mm 以下で水に溶けないで浮いている物質、水の汚濁度を視覚的に判断することができる。

SM（エス・エム）

鋼材の材質種類を示す記号「溶接構造用圧延鋼材」のこと。（JIS G3106）

SMC (エス・エム・シー)

FRP プレス工法の一つ。予めガラス繊維を「含浸」させたシート状の樹脂をプレス成形する。他のプレス成形法として「MMD」がある。

現在販売している P S F シリーズはこの成形法で製造されている。

SGP (エス・ジー・ピー)

鋼管の種類を示す記号。「配管用炭素鋼鋼管」のこと。(JIS G3452)

SGPW (エス・ジー・ピー・ダブル)

鋼管の種類を示す記号。「水道用亜鉛メッキ鋼管」のこと。(JIS G3442)

STK (エス・ティー・ケー)

鋼管の種類を示す記号。「一般構造用炭素鋼管」のこと。(JIS G3444)

STPG (エス・ティー・ピー・ジー)

鋼管の種類を示す記号。「圧力配管用炭素鋼鋼管」のこと。(JIS G3454)

SII 型 (エス・2 がた)

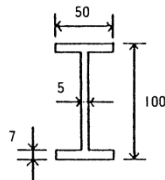
当社、角型単板タンクの型式。
現在は廃番になっている。

HI (エッチ・アイ)

衝撃強度に優れていることを示す記号。
High Impact の略。

H 形鋼 (エッチがたこう)

断面の形状が H 字型の鋼材をいう。他に、「山型鋼」(アングル) や「溝型鋼」(チャンネル) がある。尚、この鋼材の寸法表示で H-100×50×5×7 とあれば、図の寸法を示している。(「形鋼」参照)



HWL (ハイ・ウォーター・レベル)

High Water Level の頭文字。水位の最も高い位置を示す記号。

HT (エッチ・ティー)

耐熱強度に優れていることを示す記号。
High Temperature の略。尚、HT の塩化ビニルは茶褐色である。

NRS (エヌ・アール・エス)

当社、角型一体型タンクの型式。FRP サンドイッチ構造である。
現在は廃番となっている。

NT/NTD (エヌティー/エヌティーディー)

当社、円筒型タンクの型式。NT は単板形、NTD はサンドイッチ形を示す。
現在は廃番となっている。

FRP (エフ・アール・ピー)

「強化プラスチック」を意味する英単語の頭文字。

Fiber Reinforced Plastic の略。

FA (エフ・エー)

当社、F パネルタンク (単板形) の旧型式。(比較「FB」) スロッシング対応品は FAS。

FS・FH・FW・FJ・FT・FZ・FK・FQ

当社F パネルタンクの旧型式。尚、F の後のアルファベットは水槽高さを示す。

FS : 1.0mH

FH : 1.5mH

FW・FJ : 2.0mH

FT : 2.5mH

FZ : 3.0 mH

FK : 3.5 mH

FQ : 4.0 mH

現在は廃番となっている。

FL (エフエル)

建築物の床の基礎となる高さを示す図面記号。Floor Level の略。(同類後「GL」「RL」)

フロアーラインの事を云う

FL±0 (エフエルプラスマイナス 0)

水槽を設置するフロアーの基準ラインをしめす。

FOB (エフ・オー・ビー)

貿易契約における積地売買条件のうち、C.I.F.とともに、最も重要なものである。約定品を指定の船積港で、買手の手配した船舶上で買主に引渡せば、売手の費用負担の責任を解かれるという意味。

(free on board の略)

F 協 (エフきょう)

「強化プラスチック協会」の略称。

F 号ポールタツプ (エフごう——)

「複式」「パイロット」に同じ。

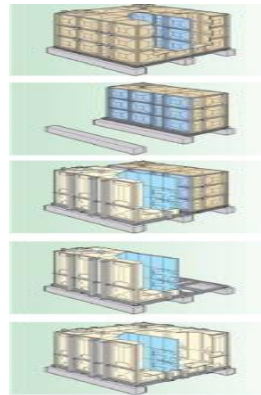
FC フランジ (エフシー——)

鋳鉄製コーティングフランジのこと。主として、パネルタンクの取出口に用いる。

FDNS (不断水工法)

(エフ・ディー・エヌ・エス (ふだんすいこうほう))

既設タンクの更新工法の一つで、中仕切りのあるタンクが選定となる。片側のタンクから解体し、もう片方のタンクで運用し、解体したスペースに新設タンクを半分だけ設置し、次はその新設タンクで運用し、もう片方の旧タンクを解体・新設するとにより、断水することなくタンクを更新する工法。中仕切りの無いタンクであれば、タンク更新時には断水回避のため別途仮設タンクを設置する必要がある。



FB (エフ・ビー)

当社、フォームパネルタンク(複合板形)の旧形式。(比較「FA」) スロッシング対応品はFBS。

MN・MZ・ME・MB

当社鉄パネルタンクの型式。尚、Mの後のアルファベットは外面の処理仕様を示す。

MN: ナイロンコーティング仕様

MZ: 溶融亜鉛メッキ仕様

ME: エポキシ樹脂仕様

MB: 黒皮仕様

現在は廃番となっている。

MMD (エム・エム・ディー)

FRP プレス成形法の一つ。ガラス繊維を金型にセットした後、樹脂を注入する成形法。当社の旧Fパネルタンクの側及び底のパネルはこの成形法で製造されていた。

(比較「SMC」)

SUS (サス)

ステンレス製であることを示す総称記号、SUSの後に、数字やアルファベットを付け、ステンレスの種類を示す。(例 SUS304 SUS444 など)

エアータイトドアー

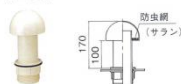
アルミサッシドアーの一種で、一般品よりも、気密性の優れた仕様のものをいう。

エアー抜き (——ぬ——)

「通気口」のこと。

(同意語「エアーベント」「ベントキャップ」)

材質: ABS
サイズ: 50A



材質: ABS
サイズ: 100A



エアーワッシャー

冷水または温水を噴霧し、空気と接触させて加熱、冷却、加湿を行い、またはじんあい、ガス、臭気などを洗浄する装置。空気調和機ともいう。

営業利益 (えいぎょうりえき)

「売上総利益」から、販売直接費と一般管理費を控除した金額。

衛生設備 (えいせいせつび)

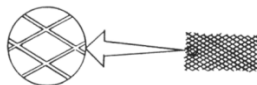
建築物に設ける、給水・排水・通気・衛生器具などの設備の総称

エキスパンションタンク

「膨張タンク」のこと。

エキスパンドメタル

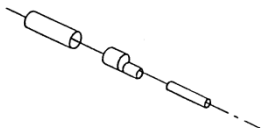
網目状になった鉄板のことで、「踊り場付架台」の床などに用いる。ステンレス製もある。「編鋼板」「グレーチング」と混同せぬ様注意。



エキセントリックレジュースー

「異径ソケット」の一種で、管の芯が図のように偏芯したものをいう。

(反対語「コンセントリックレジュースー」)



液相部（えきそうぶ）

タンク内部で溶液が溜っている部分のことをいう。「HWL」より下部のこと。

(反対語「気相部」)

液面計（えきめんけい）

タンク内部の水位が、外部から一目で判るように、タンク外部に取付けた装置のこと。(同意語「レベルゲージ」)

越流壁（えつりゅうへき）

上部に空間があり、溶液がこの空間部を越えて隣の槽へ流れる構造の「仕切板」。主として、「沈砂槽」に取付く。原理的に静水圧が作用する。

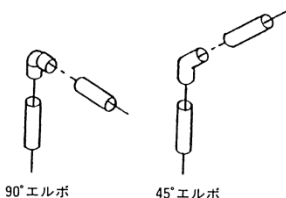
(比較「迂回壁」「整流壁」)

エマルジョンペイント

水にアスファルト、油性ペイント、樹脂性ペイントなどをけんだくさせた乳化液状のペイント。塗布後は水の発散によって固化し、表面にはほとんど光沢のない皮膜を作る。

エルボ

配管継手の一種で、配管方向を変える時に用いる。90°エルボと45°エルボがある。Elbow 肘、肘形の物の意味。

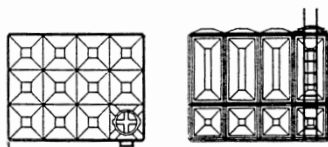


エルボ返し（——がえ——）

エルボを用いて配管方向を変えること。

エレベーション

「取出口」の取付寸法の内、天井からの下がり寸法や、底からの上がり寸法など、側面から見たときの上下の寸法をいう。尚、平面から見たときの取付寸法は「オリエンテーション」という。



オリエンテーション

エレベーション

塩害仕様（えんがいしよう）

主に海水塩分による金属部分の腐食防止を目的とした仕様。塩風の強い地域の屋外や屋上に設置されるタンクに要求される。

塩素（えんそ）

元素記号 Cl、飲料水の消毒剤として使用されている他、酸化力が強いので、酸化剤、漂白剤としても用いられている。

塩素化合物（えんそかごうぶつ）

「トリハロメタン」に同じ

鉛丹サビ止め（えんたん——ど——）

サビ止め下地用ペイントの一種。

尚、一般的に下地処理とは、防錆ペイントを塗る前の金属地肌の素地調整を指す。

塩び独立発泡体

塩化ビニルを発泡させたもので、当社パネルタンクの天井用パッキンの材質。

オイルタンク

ボイラー等に用いる石油などを貯めるタンク。鋼板製で製作されることが多く、地中に埋設されます。パネルタンクでは対応できない。

黄銅（おうどう）

銅と亜鉛の合金で一般に真鍮（しんちゅう）と呼ばれる。

応力（おうりょく）

構造物に外から力が働いた時、そのために構造物の部材の内部にいろいろな力が伝わる。これらの力を応力といい、軸力（圧縮や引張）、せん断力、曲げモーメントなどの総称。

応力度（おうりょくど）

物体内部に生ずる応力の単位面積当たりの値。

オーバー・フロー

「溢水口」（いっすいこう）のこと。

オーバーレイ

ある材料の表面を、異なる材料で被覆すること。

（同類語「ライニング」「コーティング」）

屋外消火栓（おくがいしょうかせん）

消火設備の一種。屋外消火栓は大規模建築物について、建築物の各部分からホースの接続口までの水平距離が 40m 以下となるように設ける。

お

OEM（オーイーエム）

業務提携の形態の一種。他社商品の供給を受け、自社のブランドで販売すること。Original Equipment Manufacturing の略。

OP（オーピー）

オイルペイント（Oil paint）のこと。

オイルジャッキ

油圧の力により物を押し上げるジャッキのこと。

屋上防水（おくじょうぼうすい）

屋上に降った雨水などが建物に浸透せぬように行う防水加工。「アスファルト防水」「シート防水」「FRP 防水」などがある。

屋内消火栓（おくないしょうかせん）

消火設備の一種。屋内消火栓は防火対象物の階ごとに、その階の各部分からのホースの接続口までの水平距離は消火栓仕様により異なるので消防所轄との協議が必要になる。

屋内配管（おくないはいかん）

給排水配管中の屋内部分をいう。

屋内排水（おくないはいすい）

建物内の汚水、雑排水などの不要水を排除すること。

押えモルタル（おさえ——）

アスファルト防水層などを保護するため、その上に塗ったモルタルのこと。

納まり（おさ——）

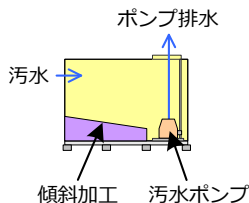
部材の相互の取付け具合をいう。

汚水（おすい）

給排水設備においては、水洗便器から排出された便水またはこれらに類する汚度をもったものを特に汚水という。

汚水槽（おすいそう）

生活汚水（し尿等）を貯めるタンクのこと。タンクの底部に汚水が溜まらないように勾配を設ける。また汚水用ポンプも内蔵されることが多く、汚水漏れを防ぐため、必ず槽内接合部に FRP ライニングを行う。



オゾン

オゾンは酸素原子 3 つからなる分子で、強力な酸化力を持つ気体である。オゾンの発生方法は無声放電法、電解法、光化学反応法などがあり、水の殺菌や異臭味、トリハロメタンの除去等に利用される。（セキスイ名水庫のオゾン発生法は電解法を採用している）

乙種防火戸（おつしゅぼうかど）

防火戸の一種。鉄製で鉄板の厚さが 0.8mm 以上 1.5mm 未満のもの、鉄および網入ガラスでできたものなどがある。また、建設省告示で定められた性能を有するものも、乙種防火戸として認められている。

帯筋（おびきん）

フープともいい鉄筋コンクリートの柱の主筋を巻いた鉄筋のこと。

オプション仕様（——しよう）

特別注文仕様のこと。Option は選択の意味。（反対語「標準仕様」）

オリエンテーション

「取出口」の取付方法のうち、平面から見たときの寸法をいう。

（反対語「エレベーション」）

折込図（おりこみず）

設計折込に使用する図面。「指定図」に同じ。

折曲げ筋（おりま——きん）

鉄筋コンクリートの梁、スラブなどで、強度補強のため、折曲げられて配筋される鉄筋。

オルソフタル酸系樹脂

（——さんけいじゅし）

耐熱や耐食性能が「イソ」系樹脂に比べやや劣るポリエステル樹脂のこと。一般水タンクはこの樹脂で成形される。通常、略してオルソと呼ばれることが多く、また一般的にポリエステル樹脂といえば、この樹脂をさす。

卸売機能（おろしうりきのう）

大量、多種類の商品（といっても特定の商品分野があるが）を生産者から仕入れてこれを再販購入者に販売する機能。問屋機能ともいう。尚、この場合、商品の販売先が最終消費者でないのが特色。

温水暖房（おんすいだんぼう）

ボイラーで発生させた温水を循環し、各室に設置した放熱器などにより暖房を行う暖房方式をいう。通常 100℃以下の温水を用いる。

温泉（おんせん）

平均気温以上の温度で地下から湧出する水で、25℃以上の鉱泉をいう。

温泉槽（おんせんそう）

このタンクも貯湯槽の一種であるが、「温泉を貯める」という機能を明確にするために、この名称を用いる。尚、温泉の成分には、タンク内面を侵すものがあり、このタンクの販売には温度や温泉成分に対する注意が必要。

温風暖房（おんふうだんぼう）

温風暖房ともいい、空気調和機などで加熱した空気を、風道によって各室に送り込んで暖房を行う。

か

加圧（かあつ）

圧力を加えること

加圧給水装置（かあつきゅうすいそうち）

「圧力タンク方式」に同じ

外観検査（がいかんけんさ）

製品の品質について、外観のみを主として目視により検査すること。

開口部（かいこうぶ）

壁や屋根・床などに設けられた口またはその部分の総称。

尚、建築途中の建物の床には多くの開口部があるので、作業時には特に注意が必要。（参照「マシーンハッチ」）

開先（かいさき）

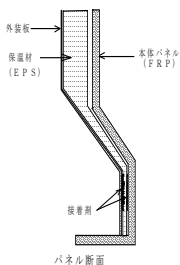
溶接を行うために母材の溶接すべき面を削り取ること。

海水槽（かいすいそう）

海水を貯めるタンクのこと。一般的には、漁港での海水貯留や、水族館の飼育設備などに使われる。必要に応じて槽内接合部にFRPライニングを行う。

外装板（がいそうばん）

「複合板形」パネル
タンクの外皮のこと
で、断熱材（「ポリスチレンフォーム」）の外側を覆っている。材質は「AES樹脂」。

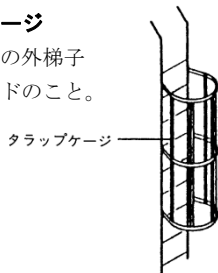


階高（かいだか）

ある階の床面から直上階の床面までの高さをいう。

外部タラップケージ

転落防止のための外梯子に取付けるガイドのこと。



改良住宅（かいりょうじゅうたく）

不良住宅地区改良のために、住宅地区改良法によって建設された住宅。

返り管（かえ—かん）

蒸気暖房とか温水暖房で放熱器からボイラーに還ってくる管のこと。リターンパイプともいう。

角鋼（かくこう）

断面が正方形の棒鋼。1辺の長さが42～160mmのものがある。（JIS G3191）

確認申請（かくにんしんせい）

建築物や工作物の工事をする場合、その計画が法令の規定にあっているかどうかを、建築主事に調べてもらわなければならない。これを確認といい、この確認の申請をして確認の通知を受けることを確認申請という。

攪拌（かくはん）

まぜ合すこと。「ミキシング」ともいう。

攪拌機（かくはんき）

容器内でプロペラ状のものを回転させ、容器内のものを混ぜ合わせる装置。

隔壁（かくへき）

「仕切板」に同じ。

架構（かこう）

「ラーメン構造」に同じ。

瑕疵（かし）

物に付いたキズのこと。
あるべき品質や性能が欠如している事。

ガasket

板厚が極端に薄いパッキンのこと。

風荷重（かぜかじゅう）

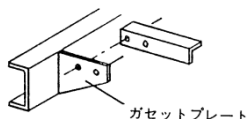
風により作用する荷重のこと。

仮設水槽（かせつすいそう）

一般的にはタンクの更新工事などで、一時的に水を貯留するために設けるタンク。土木用途では、土壤掘削時の泥水を分離するためのタンクのこと。

ガセットプレート

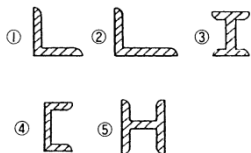
鋼材の接合部分に取付けた鉄板のこと。
（同類語「ねこ」「目板」）



形鋼（かたこう）

鉄骨造建築物に用いる材料。種々な形の断面をした長い部材があり、断面の形により次の5種類に分けられる。

- ① 等辺アングル（等辺山形鋼）
- ② アングル（不等辺山形鋼）
- ③ I 形鋼（アイビーム）
- ④ チャンネル（溝形鋼）
- ⑤ H 形鋼



型式（かたしき）

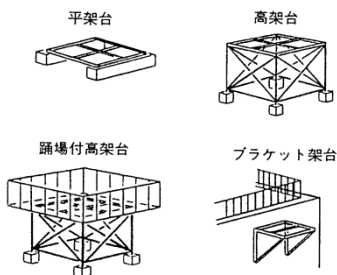
商品に付けられた記号。当社商品の場合、その殆どは、アルファベット。

片足場（かたあしば）

布丸太を建地の片側だけに取付けた最も簡単な一側足場。

架台（かだい）

タンクを支持するための鋼製の台でコンクリート基礎とタンクの間に必ず設置される。架台形状により次の4種がある。

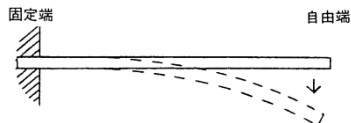


架台凡例（かだいはんれい）

凡例とは一般的に略号を説明したもの。
当社図面の場合は、架台を製作するのに使用する鋼材の種類が記入されている。
（注：かだいぼんれいと読みぬこと）

片持梁（かたもちばり）

梁で一方の端をしっかりと固定し、他の端は全然支えられていない状態にあるもの。



型枠（かたわく）

コンクリートを打込み、所定の形に成形するため、木材または金属で組立てる仮設の枠。コンクリート打込み後、硬化するまでコンクリートを保護する役目をする。仮枠（かりわく）ともいう。

漏水警報（かっすいけいほう）

「減水警報」に同じ。

カットエッジ

切断面の端。

カップリング

パイプやホースの接続方法の1つで、ボルトやネジを用いず、単に差込むだけの構造のものをいう。主として消火ホースの接続に用いる。

可とう継手（か——つぎて）

配管の振動や無理な力が直接タンクに、作用せぬように、配管途中に取付けられる継手のこと。

「フレキシブルジョイント」（略して「フレキ」）やエキスパンションがある。

（「セキスイフレックス」参照）

（比較「伸縮継手」）

加熱器（かねつき）

ホットレージに取付けられる機器。ガス・電気・湯・水蒸気・熱した気体などを熱源として目的物を熱する装置。

被り厚さ（かぶ——あつ——）

鉄筋コンクリートの中に入っている鉄筋の表面から、コンクリートの表面までの部分の厚さ（最短距離）を鉄筋の被り厚さという。

被りが薄いと鉄筋がさびたり火事のとき弱いので、壁は2～3 cm ぐらい、壁や梁では4～5 cm ぐらいが必要。

ガラスウール

ガラス繊維でできた綿状のもので、断熱材、保温材として用いる。

ガラスクロス

ガラス繊維を布状に織ったもの。

ガラスマット

小さく切ったガラス繊維（チョップ）を不規則に並べてマット状にしたもの。

正式には、チョップ・ストランド・マットという。

ガラリ

通気のため、ポンプ室のドアや壁に取付けられた鏝状の小窓のこと。

カラン

給水設備で、開閉操作を行うものの総称。

ハンドルやレバーを回して開閉や水量の調整を行うものが一般的。蛇口。水栓。

「混合水栓」「単水栓」「シングルレバー水栓」

カルキ

水道水の消毒に用いる「塩素」のこと。

感圧紙（かんあつし）

カーボン紙をはさまずとも、ボールペンなどの筆圧を感じて複写する紙のこと。

簡易水道（かんいすいどう）

「上水道」参照。

管径（かんけい）

パイプ直径のこと。

含侵（がんしん）

硬化前のドロドロとした樹脂にガラス繊維が完全に浸り、繊維間に樹脂が行き渡ること。

還水槽（かんすいそう）

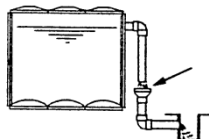
ボイラーから供給された蒸気を使用して温度が下がり、ドレン水となったものを回収するタンクを「還水槽」または「ホットウェルタンク」と呼ぶ。また蒸気圧を下げてドレン水にしたり、高圧水を大気圧まで減圧する目的のタンクを「減圧水槽」と呼ぶ。

完成図（かんせいず）

納入したタンクの寸法や材質及び取出口の位置や仕様などを記入した図面のことで、納入、組立完了後に客先に提出する図面。

間接排水（かんせつはいすい）

タンクから溶液を排出するためのパイプが連続しておらず、図のように途中で切断されており、じょうご状の物で一旦受け止めてから排水する配管形態をいう。排水管から汚水がタンク内部へ逆流するのを防ぐため。



館側車上渡し

（かんそくしゃじょうわた——）

商品の納品に関する客先との取り決めの一つ。「商品は現場までは持ってゆきますが、トラックからの荷降ろしや設置場所までの運び込みは、貴社にてお願いします。」という意味。

管トラップ

管状のトラップ（水封）をいう。Sトラップ、Uトラップ、Pトラップなどがある。



感熱紙（かんねつし）

FAX やワープロ用紙のように、熱により発色し、印字する紙のこと。

顔料（がんりょう）

樹脂を着色するための色粉のこと。
（同意語「トナー」）

き

起案（きあん）

担当者が業務の処理案や文書の案文をつくること。一連の決済手続きの起点であり、文書の形にして上申する。

機械室（きかいしつ）

建物の中で、「給排水設備」や「空調設備」のための機械類を設置した部屋のこと。

規格（きかく）

製品の形状・寸法・機能・性能などが定められている場合、その取り決めをいう。

機器リスト（きき—）

「メーカーリスト」参照。

危険物取扱主任者

（きけんぶつとりあつかいしゅにんしゃ）

危険物（爆発性・発光性・発火性・引火性のあるガスや物）を一定数量以上製造し、または取扱う事業においては、作業や保管の安全を確保するために、一定の資格を持った担当者を置かなければならないことが法律で義務付けられている。この資格を持つ人を「危険物取扱主任者」という。

機種コード（きしゅ—）

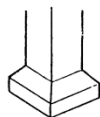
商品を用途や材質で分類したアルファベット記号。コンピュータ入力に用いる。

基礎（きそ）

一般的には、建物を土の上に支える一番下の構造である。どのような建物でも根切りしたのち、基礎を作ってその上に柱や壁をのせていく。基礎が悪いと建物は重みでめりこんだり、傾いたりする。基礎は普通、無筋コンクリートまたは、鉄筋コンクリートでつくる。基礎は建物の大きさ、構造の種類によって次の種類がある。

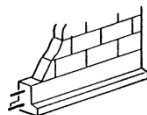
①独立基礎

柱の下だけにつくる基礎。柱にかかっている重みを土に分布させるため、ふつう下に広がっている。



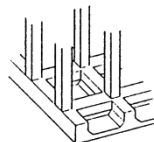
②布基礎

ブロック造や壁式鉄筋コンクリート造などに使う。壁下にそって作る基礎である。



③ベタ基礎

特に土が柔らかくて建物がめり込みそうな所で使う。建物全体の下にコンクリートの板を造って建物を支えるものである。尚、タンクに関しては、「下駄基礎」参照。



気相部（きそうぶ）

タンク内部で溶液に浸っていない空間部分のこと。（「HWL」より上）尚、この部分は塩素ガスによる金属の腐食が激しいため、「公共建築工事標準仕様」では、金属部分の全てを合成樹脂で被覆することが義務付けられている。

（反対語「液相部」・参照「プラコートボルト」）

基礎ピッチ（きそ——）

「下駄基礎」のコンクリート枕基礎間の寸法。当社では、2.0m 以下と規定している。（「下駄基礎」参照）

起票（きひょう）

帳票（伝票）を最初に発行すること。

基本図（きほんず）

タンクや架台について、その寸法・材質、「耐震仕様」など基本となる事柄について、標準仕様を記載した図面。通常、客先に最初に提出する図面。営業図と呼ぶ場合もある。

逆止弁（ぎゃくしべん）

液体の逆流を防ぎ、一方向にだけ流す弁。

（同意語「チェックバルブ」）

キャンセル

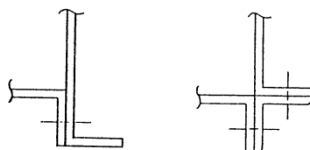
言葉の意味としては「取り消す」こと。社内用語としては、工場に対するオーダー処理として、「返品」との違いを明確にするため、その定義を次のように定めている。

「キャンセルとは、商品が工場を出荷する前に、受注そのものを取り消すこと」

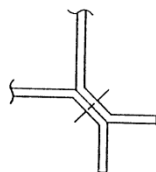
90°接合

パネルタンクの各パネルのボルト接合部が、図の構造のものをいう。現在販売しているFパネル・ステンレスパネルタンクの接合方法であり、旧Fパネルは45°接合であった。

（比較「45°接合」）



90°接合

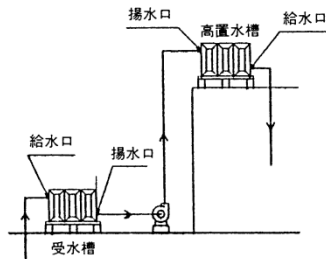


45°接合

給水口（きゅうすいこう）

タンク「取出口」の名称の1つ。受水槽と高置水槽とでは水の入りと出が逆になるので注意。

- ①受水槽の場合：水が入ってくる
 - ②高置水槽：水が出てゆく
- 尚、「揚水口」も同様
に水の出入が逆になる。図参照。



給水装置（きゅうすいそうち）

需要者に水を供給するために、水道事業者が施設した配水管から分岐して設けられた給水管およびこれに直結する給水用具をいう。簡単には、水道メーターから蛇口に至るまでの全ての設備をいう。

給湯設備（きゅうとうせつび）

温水を供給するための、配管や機械類の全ての設備をいう。

給排水衛生設備

（きゅうはいすいえいせいせつび）

水の供給、排水、並びに汚水の排水設備など、水回りの全ての設備のこと。

キュービクル

受変電設備の一種。変圧器、遮断器、各種安全装置などを鋼製のケーシング内に納めたもの。

強化プラスチック（きょうか—）

ガラス繊維で強化したプラスチックのこと。「FRP」に同じ。

許容差（きょようさ）

承認することのできる真の値との「誤差」。

共振（きょうしん）

ある振動体が他の振動体の振動に誘導されて、他の振動体と同じ振動数で振導する現象。

共同企業体（きょうどうきぎょうたい）

工事量が大きく、また工事が重大であるときなど、施工の万全を期すために、二人以上の請負者が共同で一つの工事を請負う形態。「ジョイントベンチャー」「共同請負」ともいう。

強度計算書（きょうどけいさんしょ）

タンクや架台の強度を計算し、そのタンクが一定の強さの風雪や地震などに対し安全であることを数値で客先に示すもの。（同意語「構造計算書」）

協力工場（きょうりよくこうじょう）

一般に下請工場または外注工場をいう。親工場の注文に応じて製品の一部分または全部を生産する。「サプライヤー」

極度額（きょくどがく）

ある一定額を越えない金額のこと。ある事柄に関しての、限度の金額。

緊急給水弁（きんきゅうきゅうすいべん）

『貯得（ためとく）』システムの一つ。電磁弁と同じ役割を行う。

緊急遮断弁（きんきゅうしゃだんべん）

地震災害の緊急時に、地震動を感知して自動的にタンクの揚水口又は給水口を遮断し、タンク内部の水を確保出来るの機構のこと。

緊結（きんけつ）

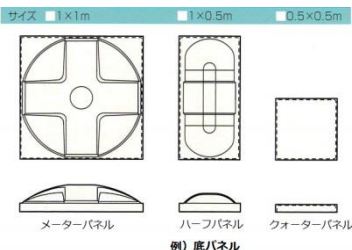
緊く結びつけること。

（使用例「アルカーボルト」はコンクリート基礎の配筋に緊結する）

クォーターパネル

パネルタンクのパネルの一種。一辺が 50cm の正方形パネル。

（比較「ハーフパネル」「メーターパネル」）



鎖パイプレンチ（くさり——）

大口径管用のパイプレンチ。管をチェーンで巻いて、歯の方向に回わすとチェーンが張り、歯が管をかんで回わすことができる。



空調設備（くうちょうせつび）

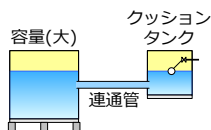
建物内の空気温度や湿度を調整するための設備をいう。空気調和設備の略。

クーリングタワー

冷凍機などの熱源器冷却用循環水を空気（外気）で冷やすための冷却装置。主としてビルの屋上や屋外に設置される空調設備機器の一種。冷却塔ともいう。

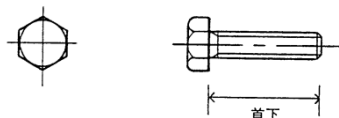
クッションタンク

循環系の配管の途中に、配管全体の保有水量を増やす目的に設けるタンクのこと、常に水位を一定にしなければならない槽（プール・浄化槽等）と連通管で接続した水位調整タンクとしての意味もあり水位調整用のタンクは「バランシングタンク」とも言う。ボールタップ等の保証装置がついています。クッションタンクには連通している水が流れるため、使用温度に注意が必要。



首下（くびした）

ボルトの長さを表すときに用いる言葉で、図の寸法を「首下〇〇mm」と表現する。



組合せ応力（くみあわ——おうりょく）

構造材には曲げと引張り、または曲げと圧縮の応力を同時に受けるものが少なくない。例えば「ラーメン構造」の部材はほとんど曲げと軸方向力、せん断力を受けている。このような場合の断面に生ずる応力を組合せ応力という。

組立スペース（くみたて——）

パネルタンクの組立を行うためのタンク設置場所の広さのこと。この「組立スペース」が無いとタンクの組立が行えないので、納入打合せ時、注意を要す。尚、通常タンク外面から最低 60cm は必要。

雲形定規（くもがたじょうぎ）

コンパスで描くことのできない曲線を描くのに用いる定規。



雲形定規の種類

グラインダー

研出し、研磨をする回転工具。「サンダー」ともいう。

グラスウール

短いガラス繊維の集合体。保温材吸音材として使用される。

グラスファイバー

ガラス繊維のこと。

クラック

ひび、裂け目のこと。

クラッシャー

破碎機のこと。固体原料を適当な大きさに砕く機械。材質と破碎程度によっていろいろな機種がある。

クランプ

「かすがい」のこと。また鋼管足場の十字部分の「緊結金具」のことをいう。

グリーストラップ

排水などに含まれる不用な固形物や油脂分を取り除く働きをする。主として厨房排水設備に用いる。グリース阻集器ともいう。

クリープ

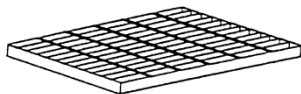
金属が一定荷重のもとで、時間がたつにつれ、そのひずみを増す現象。一般に高温においてみられる。

クリープ試験（——しけん）

材料のクリープに対する抵抗またはクリープを認める温度を測定する試験。高温で使用する材料には重要な試験。

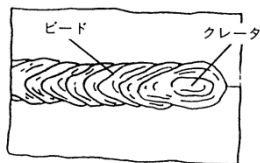
グレーチング

排水溝などの上に敷かれた格子状の蓋。



クレータ

鋼材の溶接に関する言葉で、アークまたはガス炎の作用によって「ビード」の終端にできる、くぼみをいう。



クレーム

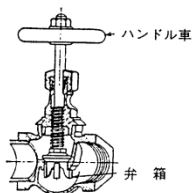
商品の傷・破損・仕様違いなどの不備を客先が指摘し、当社にその対処を依頼してくること。

クレーン

荷物を動力で吊り揚げ、かつ水平に移動することのできる機械のこと。

グローブバルブ

玉形弁のこと。ハンドルの回転によって内部の駒を上下させ、管内の流水を同方向の隔穴を加減して流水を調節する。



黒ガス管（くろ——かん）

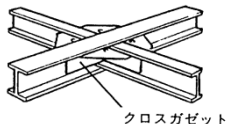
亜鉛メッキを施さない配管用鋼管のこと。尚、亜鉛メッキを施した管は白ガス管という。

黒皮（くろかわ）

「ミルスケール」に同じ

クロスガゼット

「内補強」方式のパネルタンクの内部補強材を架台と締結するために、架台に取付けた鉄板のこと。当社旧Fパネルタンクに関する社内用語



クロスコネクション

給水配管中に、その給水配管系や装置の不手際、故障などにより、汚れが逆流し、給配水が汚染される現象。

クロメートメッキ

電気メッキの一種。

け

K_H (ケーエッチ)

水平震度のこと。

K_V (ケー・ヴィー)

垂直震度のこと。

珪酸カルシウム板 (けいさん——ばん)

不燃材料。珪酸カルシウムで作られた板のこと。

ゲージ

- ①計りのこと (例:「レベルゲージ」)
- ②けがき線が予め切り込まれている型板のこと。主としてパネルに穴をあけるときに用いる。(「テンプレート」参照)

ゲージバルブ

「液面計」の上下に取付ける弁(バルブ)のこと。

ケーシング

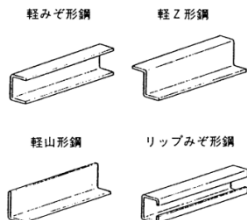
一般にある機械、装置、器具に対し被覆収納、囲いなどの役目をする箱。

系統図 (けいとうず)

建築設備計画および設計において、空気、調和、換気、暖房、冷房、電気、ガス、給排水、給湯などの設備の系統を示す図で、管路を単線で記入し各要素をそれぞれ符号を用いて示す。

軽量形鋼 (けいりょうかたこう)

帯状の形鋼を冷間成形して作られた形鋼。一般の形鋼は熱間圧延によるが、これに比べて重量に比して断面係数や断面二次モーメントが大きいのが特徴。軽量形鋼には次の種類がある。

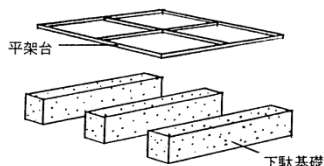


掛がき（け——）

工作物に加工の基準となる線や点を直に書き入れること。

下駄基礎（げたきそ）

「架台」を受けるコンクリート基礎のことで、下駄の歯のような形になることから、こう呼ばれている。（参照「基礎」）

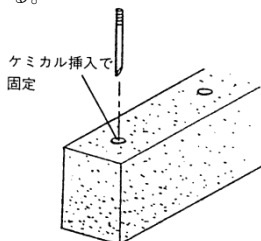


結露（けつろ）

大気中の水蒸気が冷やされたため、露となって物質表面に付着すること。内容液の温度が低く、外気温が高いような場合、タンク表面近くの空気が冷され、タンク表面に露が付着することをいう。尚、対策としては、保温力の高い「複合板形」や「サンドイッチ形」のタンクを設置する。

ケミカルアンカー

正式にはあと施工接着系アンカー。コンクリート基礎に架台を固定するアンカーボルトの種類の一つ。ボルトの固定に化学物質を用いることからこの名が付いている。



ケミカルタンク

薬液を貯溜するタンクのこと。一般水タンクとは異なり強い耐食性能が要求される。「一体型」単板タンクであることが多い。

ゲル化（——か）

液体が、寒天状に固まること。

ゲルコート

FRP積層品表面のガラス繊維を含まない樹脂のみの層のことで、積層品に光沢を持たせる場合や、着色する場合に成型時に最初に塗布する。

けれん

付着物をこそげたり叩いたりして取り除くこと。（付着したモルタル類を取り除くこと。）

検査規格（けんさきかく）

製品の品質保証を行うための検査の全ての基準となる規格のこと。

検収（けんしゅう）

仕入先から納入された製品について、ただ製品の授受だけでは支払の対象とはならず要求に合致した数量、性能などの検査を行ってはじめて納入は終了し納品書が受理される。この検査行為を「検収」という。

原図（げんず）

設計された段階で作られた基の図面・複写の原紙になる図面で、通常複写された図面を作業用として用いる。（比較「第2原図」）

減水警報（げんすいけいほう）

タンク内部が最低保有水の状態になった事を、ブザー等で知らせる警報のこと。尚、減水状態を感知するのは「電極」に取付けられた2番目に長い「電極棒」。（同類語「満水警報」「電極座」参照）

建築基準法（けんちくきじゅんぽう）

建築物の敷地・構造・設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、公共の福祉の増進に資することを目的とした法律。水槽関係では建設省告示第1674号、耐震基準法などがある。

建築設備（けんちくせつび）

建築物に設ける電気・ガス・給排水・換気・冷暖房・消火・汚物処理の設備または煙突、エレベーター、避雷針をいう。尚、建築設備は「建築基準法」でいう「建築物」に含まれる。

建築物の高さ（けんちくぶつ——たか——）

一般には地盤面からの高さを示すが、道路幅による高さ制限および都市計画区域内での高さ制限の場合には前面道路の中心から測る。ただし「ペントハウス」などで建築面積の1/8以内のものなどは含まれない。

建築面積（けんちくめんせき）

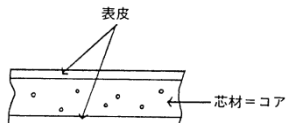
建築物の外壁またはそれに代わる柱の中心線で囲まれた部分の面積で一般に建坪といわれているが、のきやベランダなどが1.0m以上突き出ている場合には、その先端から1.0m引込んだ線から内側は建築面積に算入される。原料貯留槽（げんりょうちよりゅうそう）

生産設備などで使用する様々な液体を貯留するタンク。使用には慎重な検討が必要の為、内用液の確認が重要。

こ

コア

「サンドイッチ構造」の芯材のこと。（図参照）尚、「複合板構造」の場合、「ウレタンフォーム」などの発泡体は、「コア」とは言わず、「保温材」という。



コアシステム

建築物の平面計画にあたり、共同部分を中心に集中させる配置方法。エレベーター洗面所、便所、廊下、階段などを中心におき、求心的な機能を発揮させるとともに、構造上、設備計画上有利な計画をすることが出来る。

コイル冷却器（——れいきゃくき）

金属管をコイル状に配し、その中に冷媒、冷水などを通し、外側の液体を冷却する装置。空気冷却用のものを空気冷却コイルという。

工期（こうき）

着工から竣工までの工事の期間。

恒温槽（こうおんそう）

実験その他の操作を一定の温度（恒温）のもとで行うために、内部の温度を長時間にわたって一定に保つように工夫された容器およびその付属装置をいう。

高架工作物（こうかこうさくぶつ）

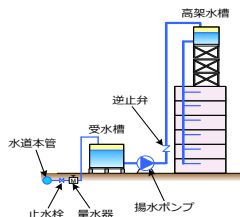
テレビ塔、展望塔などの高架の「工作物」のこと。

硬化剤（こうかざい）

ポリエステル樹脂を硬化させる薬液のこと。強い毒性と引火性、並びに爆発性があるので、その取扱いは注意が必要。
略号（MEKPO：メチルエチルケトンパーオキシサイト）

高架水槽（こうかすいそう）

ポンプで高い場所へ揚げられた水を、貯水する役割をはたしており、高架台上に設置された水槽が高架水槽である。



高架水槽イメージ（屋上に設置）

高架水槽方式（こうかすいそうほうしき）

給水方式の一種。水道本管からの引込管などにより受水槽に貯水した後、給水ポンプで水を屋上に設置した。「高置水槽」や給水塔に設置した高架水槽に送り、これら水槽から重力により建物内の所要箇所へ供給する方式（比較「加圧給水システム」）

公共事業（こうきょうじぎょう）

国あるいは地方公共団体、またはそれに代わるものなどの実施公共的な事業のこと。例えば、治山治水、道路港湾への整備、災害復旧、新国土開発など、国や地方自治体の予算で賄われる事業のこと。

工業所有権（こうぎょうしょゆうけん）

特許権、実用新案権、意匠権、商標権の総称。

工業用水（こうぎょうようすい）

洗浄用水とか冷却用水といった工場の生産設備に必要な水を貯めるためのタンクである。また一般的な工業用水は、上水と異なり水質基準値が低い。

交互運転（こうごうてん）

複数のポンプを交互に運転させる運転形態。

公差（こうさ）

許ししろのこと。寸法どおり正確に製品を仕上げることはきわめて困難なので、その工作物の許しうる誤差の最大寸法と最小寸法を設け、この間の寸法を合格とする。この両者の差を「公差」という。（参照「誤差」）

工作物（こうさくぶつ）

建築基準法では、人が造った施設はすべて「工作物」といい、建築物でない工作物のうち、特に煙突、擁壁、高架水槽、広告塔、鉄柱類で一定規模のものや、コースターやメリーゴーランドなどの遊戯施設は「指定工作物」として、建築基準法による必要な規定が適用される。

工事管理（こうじかんり）

その人の責任で工事が設計図通りに行われているかどうかを設計図書と照らし合わせてながら確認すること。

工事完了届（こうじかんりょうとどけ）

建築基準法で確認を受けた工事が完了したとき、建築主はその旨を工事が完了した日から4日以内に建築主事に届け出なければならない。この届け出が「工事完了届」である。

公称寸法

（こうしょうすんぼう）

構成材の大きさや寸法を相互に相関性を保って決めるために使われる寸法。それに対応する実態との差は、設計上のにげ、あき、のびおよび製作誤差である。たとえば寸法 1000×1000 のパネルを、パッキンしろを含めて 1002×1002 というときの寸法が、この公称寸法である。

高所作業（こうしよさぎょう）

通常、床上 2.0m 以上での作業をいう。

硬水（こうすい）

カルシウム塩類およびマグネシウム塩類を比較的多量に溶かしている天然水を「硬水」といい、これら塩類の少ない水を「軟水」という。

鋼製単管足場(こうせいたんかんあしば)

足場の一種。通常、「パイプ足場」と称している。鋼製枠組足場の対語。パイプと接続金具(クランプ)を用いて組み立てる。



公正取引委員会

(こうせいとりひきいいんかい)

独占禁止法に基づいて設けられ、この法律の実施、運用を行う委員会。

構造計算書(こうぞうけいさんしょ)

「強度計算書」に同じ。

高層ビル(こうそう——)

高さが地上 60m 以上の建築物をいう。尚、超高層ビルとは地上 100m 以上の高さの建築物をいう。

高置水槽(こうちすいそう)

階下に給水するために、屋上などの高いところに設置された水槽で、FL からの高さが 2.0m までの架台の上に設置されるものをいう。

工程(こうてい)

作業の進み具合、段取り、計画のこと。

工程管理(こうていかんり)

一定の品質と数量の製品を所定の期日までに生産するために、人的労働や機械設備を経済的に運用させることを目標に、工場の生産活動を総括的に統制すること。

高度利用地区(こうどりようちく)

用途地域内の市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、容積率の最低限度、建ぺい率の最高限度および建築物の建築面積の最低限度を都市計画として定める地区をいう。

購買部(こうばいぶ)

資材部(課)ともいい、資材などの購入の窓口となる部署をいう。

コーキング材(——ざい)

一般的には、サッシュ・カーテンウォール・目地などの充填材をいう。合成樹脂製のものが多い。タンク関連としては、パネルタンクの取出口の取付に使用される。

コージェネレーション

Co-Generation の略。二つ以上の有効なエネルギーを同時に発生するシステムを意味する。一般的には「電気」と熱エネルギーが考えられ「電熱併給システム」と訳されている。エンジン等の熱機関の軸出力で発電機を駆動し電発するとともに、その排熱を冷暖房・給湯などの熱需に利用するシステムである。

コーティング

樹脂などを塗布し、被覆すること。

(例:樹脂コーティング)

(同類語「ライニング」)

コーナーアングル

当社Fパネルタンク及びステンレスパネルタンクの部品名称。タンク本体のコーナー部の接続に用いる。

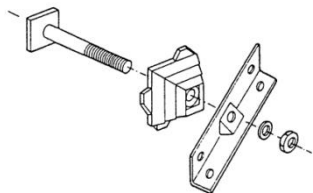
コーナーパッキン

当社Fパネルタンク及びステンレスパネルタンクの部品名称。底パネルのコーナー接続に用いる。

タンク本体のコーナー部に用いる「本体コーナーパッキン」と混同せぬように注意。

コーナーブロック

当社旧Fパネルタンクの止水部品の一つ。直角にパネルが接続される場合のパネル両端のシールに用いる。尚、「仕切板」接合部に取付く「コーナーブロック」は「センタークリート」という。



氷蓄熱（こおりちくねつ）

タンク内部の溶液を安価な深夜電力で凍らせ、日中この氷を溶かすことで建物内の冷房を行うシステム。

(参照「アイスレージ」)

氷蓄熱槽（こおりちくねつそう）

「氷蓄熱」とは深夜電力を利用して夜間に氷を作り、昼間にこの冷熱を利用して冷房に用いるシステムの事をいう。氷蓄熱槽は作った氷を貯めておくタンクで、50mm 保温型が使用される。シャーベット型の氷を貯める方式（アイスレージ）と、槽内に設置した製氷コイル周囲に硬い氷を貯める方式（アイスティック）など、数種類の方式がある。

告示（こくじ）

行政機関（国や地方公共団体）が特定事項（事実や処分など）を不特定多数に知らせること。

誤差（ごさ）

測定された値と真の値との差をいう。いろいろなものを測定する場合、測定誤差、計測器誤差、温度差などにより、真の値を測定することは困難である。この誤差を少なくすることを「精度を高くする」という。またこの誤差をなくすことはできないので、真の値との「許容差」を決めておく必要がある。(参照「公差」)

呼称容量（こしょうようりょう）

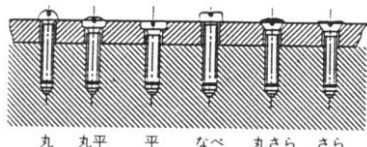
タンクの容量を表す値の一つで、カタログや品番に記入された数値のこと。通常角タンクの場合、タテ×ヨコ×高さの積をいう。（比較「有効容量」）

こだま便（——びん）

短納期のFパネルタンクの総称。通常、工場への製造、出荷指示後、4日間で客先に納入される。

小ネジ（こ——）

ねじ回しによって締める直径9mm以下の頭付きの小さいネジをいう。頭の形によって図の種類がある。



小梁（こばり）

当社パネルタンクの部品名称、蓋パネルを支える梁材の内、小さい方をいう。（反対語「主梁」）

小判型ソケット（こばんがた——）

当社パネルタンクの取出口の名称の一種。「BC製」で口径が40A以下のものをいう。形状が小判の形をしていることからこの名が付いている。

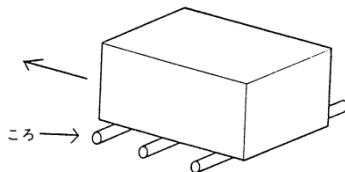


ゴムライニング

ゴムを用いてある材質を被覆すること。

ころ

重い物を容易に移動させるために、その下に横にすえる丸棒のこと。



コンクリート基礎（床盤）

（——きそ（しょうばん））

水槽を設置する基礎の地盤より下に埋まっている、荷重を受ける重要な基礎

コンクリート基礎配筋

（——きそはいきん）

鉄筋コンクリート（RC）の鉄筋のこと

コンクリート基礎（梁基礎）

（——きそ（はりきそ））

水槽を設置する為の梁状の基礎（標準基礎）

コンクリート基礎（ベタ基礎）

（——きそ（——きそ））

水槽を設置する為の平板基礎

コンパネ

合板のこと。

コンペ

Competition の略。競技の意。建築物の設計者を決定する方法の一つで、複数の設計者に自分のアイデアやデザインを提出させ、その中より施主の意図するところに見合ったものを提出した設計者に、その設計を発注すること。

コンベックス

メジャーのこと。

さ

SUS304（さす——）

熱間圧延ステンレス鋼板。

一般的なステンレス材質。

タンクでは、主にポルト・ナットに使用されている。

SUS316（さす——）

オーステナイト系のステンレス SUS304 は、クロム 18%、ニッケル 8%。SUS316 は、クロム 18%、ニッケル 12%、モリブデン 2.5%で、SUS304 に比べてニッケルを増量。SUS304 より耐久性があるが高価。

SUS329（J4L）

（さす——（じえい——える））

タンクでは、タンク本体の気相部分に使用されている。

SUS444（さす——）

タンクでは、タンク本体の接水部分に使用されている。

サーキュレーター

循環装置のこと。例えば、ウォーターサーキュレーターといえば、温水冷暖房設備に用いる電動式水循環ポンプをいう。

サービススリーブ

さや管。建築設備付配管、電気配線などが鉄筋コンクリートの壁・天井・床はりなどを貫通する場合、あらかじめコンクリート工事の際に埋込んでおく管。

（参照「紙管」）

サーモスタット

温度の変化でスイッチの ON.OFF を自動で行うようにした装置。

災害用タンク（さいがいう——）

コダマ便と同様の考え方と同じで、災害発生時などに最短 1 日で出荷可能とした復興支援用のタンク。

但し、在庫には限りがあるのと、道路状況等その他事情により納品できないケースもある。



採光（さいこう）

住宅など人間の健康に重大な影響をもつ用途の居室には自然の光、天然の光を採るべきことが義務づけられている。このことを採光条件といい、必要な採光面積は建築物の用途によって異なる。

材工（ざいこう）

材料と工賃のこと。見積時などに「材工共で〇〇円です」という使い方をする。

採光窓（さいこうまど）

ポンプ室付受水槽のポンプ室天井に取付ける採光のための窓。透明アクリル板製。

最終消費者

商品、サービスを直接使用、消費または利用する人。エンドユーザーともいう。

才数（さいすう）

量を表わす単位。約 30cm³。主として梱包に用いる。

サイト

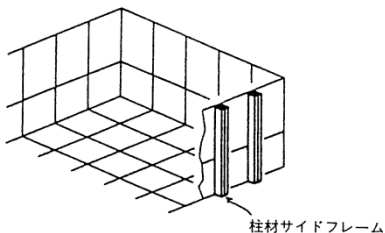
手形が決裁されるまでの期間。手形の振出日から決裁日までの日数。

サイトグラス

覗き窓のこと。

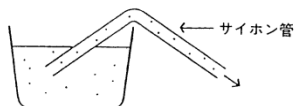
サイドフレーム

「外補強」のパネルタンクの部品名称の一つ。側パネル接合部をタンク外部から補強する鋼材のこと。



サイホン管

大気圧により液体をいったん高くあげて低い所に移すために用いるU字形またはV字形の管。



サイレンサー

一般的には消音器を指すが、タンク関連用語としては、開放型貯湯槽内部に蒸気を吹き込むと大きな音がするので、この音を消す為に蒸気を攪拌させる消音器をいう。

座金（ざがね）

ワッシャのこと。

サクション

吸うこと。吸い込み口のこと。

さく泉（さくせん）

井戸を掘ること。「ボーリング」ともいう。

座屈（ざくつ）

柱などの細長い部材に圧縮力を加えると、はらみ出すように曲って折れる。この現象が座屈で、その部材が座屈するか、あるいはそのまま破壊するかは細長比などに関係してくる。

座屈応力度（ざくつおうりょくど）

座屈荷重の値を断面積で除した値。

下げ墨（さ—すみ）

垂直の墨（「けがき線」）のこと。

下げ振り（さげぶり）

円すいのおもりを細い糸でつり下げたもの。工作物の垂直を測ったりする。機械の据付時などに用いる。



指金（さしがね）

主として鋼または黄銅で作られ、直角に曲げられたものさし。直角を測るのに用いる。

サス

ステンレスの略称。SUS-304はサス、さんまるよんと読む（参照「SUS」）

雑用水槽（ざつようすいそう）

建物内に給水される水は主として、飲料用水と水洗トイレ等の雑用水とに大別され、通常は1つの水槽で兼用されます。しかしながら、大規模ビルなどでは、この雑用水専用の水槽を設置するケースがあり、この水槽のことを雑用水槽と読んでいます。

サドル

タンク関連用語としては、配管の支持台のこと。

サナトリウム

療養所のこと。一般には結核療養所をさす。

錆（さび）

大気中の酸素。水素などの作用で金属面に生じる酸化物や水酸化物などをいう。塗料その他を用いてこの作用を防ぐことをサビ止めという。

サブコン

SCと略す。「一括受託」した元請会社（「ゼネコン」）から、設備工事を受注した設備業者のこと。

サブタンク

補助タンクのこと。

サブライリスト

種々部品などを送ったり、準備したりする際に、その部品類を一覧表にしたリストのこと。部品名称、数量などが記入されている。

サポート

ある物を支持する部材。

酸洗い（さんあら——）

①金属表面の洗浄②メッキや塗装、切削などの下地処理③ステンレス材の表面に被膜を再形成するなどの表面処理を目的とし、強酸で洗浄処理をする事である。

酸欠（さんけつ）

人間が呼吸するのに必要な酸素量が不足すること。特殊な溶液が入っていたタンクの内部で作業を行うときは、特に「酸欠」に注意すること。

参考図（さんこうず）

商品の規格や仕様を参考として相手に知らせるための図面。

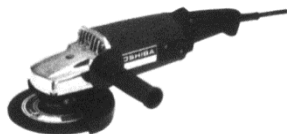
散水用水槽（さんすいようすいそう）

ゴルフ場などの芝や植栽散水用に、主に雨水などを貯めるタンクのこと。芝散水用に冷水を貯めることもある。

サンダー

サンドペーパーを取付けて鋼材などの表面を研磨する動力駆動の器具。

（同類語「グラインダー」）



サンディング

グラインダー（サンダー）で研磨すること。

サンドイッチ構造（——こうぞう）

断面構造がパンのサンドイッチと同じように、2枚のFRP板（2枚の食パン）の間に芯材（ハムや野菜）を挟みこんだ形となっており、この構造で水圧に対して、強い強度を得ているものをいう。

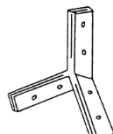
（比較「複合板」）

サンドブラスト

砂を圧縮空気で吹き付けること。鉄鋼材の塗装前の清掃処理やコンクリート面を荒すのに用いられる。

三方パッキン（さんぼう——）

当社旧パネルタンクの部品の一つで、タンクコーナー下部のシールに用いる。

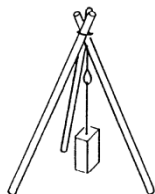


サンプリング

ある事を調査しようとするとき、すべての対象のうち、一部の抽出調査を行って全体について知るための標本（試料）をとること。

三又（さんまた）

重量物の吊りおろしに用いる道具。三本の柱材の頂部をボルトなどで組合せ脚部を開いて自立させ、頂部からワイヤーロープや「チェンブロンク」などを利用するもの。



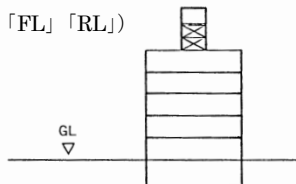
残留塩素

水道では塩素消毒を行い、水道水に一定量の残留塩素を保持しなければならないことになっている。残留塩素とは塩素処理後、水中に残留した有効塩素のことで、遊離残留塩素と結合残留塩素に区分される。わずかな残留塩素はほとんど気にならないが、濃度が高くなると水の味をまざくしたり、塩素臭（カルキ臭）強めたりする。

し

GL（ジー・エル）

建築物の設計上、基本となる地表の高さを表す図面記号。（Ground Level）の略。（比較「FL」「RL」）



JIS規格（ジィスキかく）

日本工業規格。工業標準化法の施行に伴い、1949年に制定された。尚、JISはJapanese Industrial Standard.

JIS-10kg フランジ（ジィスー10 キロ——）

一平方センチメートル当り、10kgの水圧に耐えうよう、板厚やボルト径、数などを定めた日本工業規格（「JIS」）の寸法と同じ規格の「フランジ」のこと。他にJIS-5kg フランジなどがある。

Gタイプ樹脂（ジィー——じゅし）

ポリエステル樹脂の種類の一つ。「オルソフタル酸系樹脂」に同じ。

GT/GTD（ジーティー/ジーティーディー）

当社タンクの形式。角型一体型でGTが「単板」GTDが「サンドイッチ構造」を示す。現在は廃番となっている。

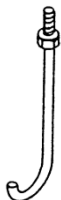
JV（ジェーヴィー）

Joint Venture の略。「共同企業体」に同じ。

J型アンカー（ジェーがた——）

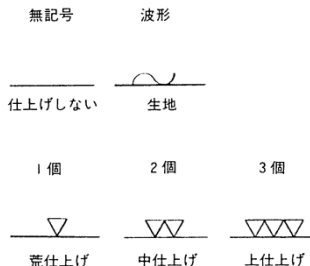
J 字型のアンカー

ボルトのこと。



仕上記号（しあげきごう）

図面記号、下図の記号を用いて加工表面の仕上程度を示す。



シート防水（——ぼうすい）

屋上にシートを貼り巡らせて防水する工法。（類似語「アスファルト防水」）

シールボルト

当社旧パネルタンクの部品名称。側パネルの十字状接合部に取付ける補強材を固定するボルト。

シーラント

シーリング材のこと。

シーリング材（——ざい）

カーテンウォール、サッシュなど、建築物の目地に充填する合成樹脂や合成ゴム製のペースト。タンクではパネルタンクの取出口の目地に用いる。

市街地開発事業

（しがいちかいはつじぎょう）

都市計画区域内において都市計画として行う土地区画整理事業、新住宅市街地開発事業、工業団地造成事業、市街地再開発事業などの事業をいう。

仕掛品（しかかりひん）

一般的には、製造途中のもので、売り上げの対象とならないものを言うが、社内では「工場から出荷はしたが（製造原価は発生したが）客先への売り上げをまだ形状していないもの」をいう。

紙管（しかん）

紙で作られたパイプのこと。コンクリート基礎を作る際、モルタル充填前にこの紙管をセットし、カンカーボルト埋込み用の穴を確保するのに用いたりする。

（同意語「ボイド」「サービススリーブ」）

支管（しかん）

（「主管」参照）

色相（しきそう）

赤・橙・黄緑・緑・青・緑紫などの色あいという。実用的に色相を区別しうる数は120～240といわれる。

色調（しきちょう）

色会いのこと。（参照「日本塗料工業会」「マンセル値」）

事業年度（じぎょうねんど）

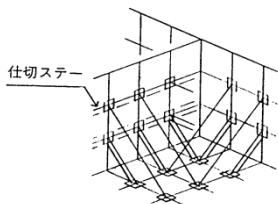
法人の事業年度は営業年度その他これに準ずる期間で、法令、定款、寄付行為、規則もしくは規約に定めるものをいう。尚、当社の事業年度は4月1日から3月31日までである。

仕切価格（しきりかかく）

取引価格、販売価格のこと。

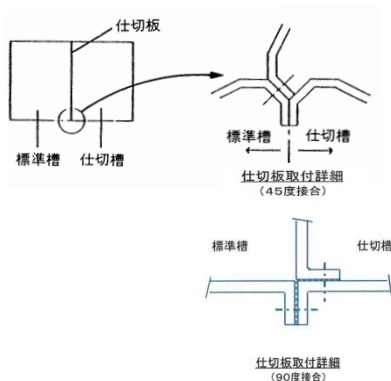
仕切ステー（しきり——）

当社パネルタンクの部品名称。「仕切りパネル」の補強材。



仕切槽（しきりそう）

二槽式パネルタンクの各槽の呼び名。図参照。



仕切板（しきりばん）

仕切パネルともいう。水槽を2つ以上に仕切り、断水せず保守点検・清掃ができるようにするための板。

治具（じぐ）

一定の作業工程を行う場合や、品物の形状などから取付が困難な場合、また繰り返し作業で位置決めなどに時間がかかる場合に用いる補助具。

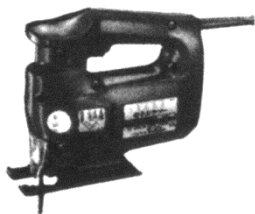
（参照「ゲージプレート」）

軸組（じくぐみ）

木造や鉄骨造の中で土台、柱、桁、筋違などで組まれた構造体の主な骨組をいう。

ジグソー

曲線を切るのに用いる電動工具。



字消し板（じけーいた）

製図道具の一種。

誤った線や文字を消すのに用いる。金属製の薄い板で作られる。



自己手形（じこてがた）

自分（自社）が振り出した手形のこと。
（反対語「回り手形」）

自在戸（じざいど）

内開き、外開き共に自由に開くことのできる戸のこと。

自浄作用（じじょうさよう）

排水トラップの封水部に、沈澱または付着しようとする汚物などを、汚水の流れの勢いで押し流す作用をいう。尚、トラップはこの自浄作用にすぐれていなければならない。

地震感震器（じしんかんしんき）

地震の有無、また震動の度などを調べるのに使う機器。

地震力（じしんりょく）

地震により構造体が受ける力。一般的に構造計算を行う場合は、建物の重量に設計震度を乗じて求める。尚、タンクについての設計震度は、1.0G、1.5G、2.0Gの3つがあり、通常、受水槽については1.0G 又は 1.5G、高架タンクについては1.5G 又は 2.0G を用いる。

市水（しすい）

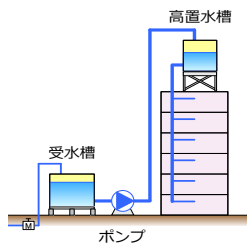
「上水道」に同じ

止水栓（しすいせん）

「弁」に同じ

自然落方式（しぜんらっかほうしき）

地上付近に設置した受水槽で水道を貯留し、屋上に設置した高置水槽にポンプで水を送り、高置水槽からはポンプを使用せずに自然流下で各階へ給水する方式。高置水槽方式とも言う。



シスターン

水洗便所の洗浄用水槽のこと。水槽の取付位置によってハイシスターンとローシスターンがある。

自然換気（しぜんかんき）

自然の風力または部屋の内外の温度差によって自然に行われる換気をいう。これに対し送風機や排風機などの機械による換気を「機械換気」という。

（参照「機械換気」）

下請け（したう——）

下請負の略。注文主と直接工事契約をした元請業者が、工事の一部または全部を第3者に請負わせること。尚、建築の場合、全部を下請けさせる一括下請（俗称「まるなげ」）は、「建設業法」で原則として禁止されている。

湿式（しっしき）

「ハンドレ」「手積み積層法」のこと。一体型タンクを「湿式」タンクと呼ぶことがある。尚「パネルタンク」は乾式という。

実容量（じつようりょう）

「有効容量」に同じ。（反対語「呼称容量」）

指定工作物（していこうさくぶつ）

工作物のうち、「建築基準法」の条文が適用されるもの。例えば、高さ6mを越える煙突、高さ15mをこえる鉄筋コンクリート造の柱、鉄柱、木柱、高さ4mをこえる広告塔、高さ8mをこえる高架水槽、サイロ、高さ2mをこえる擁壁、ジェットコースターなどの遊戯施設などをいい、政令で指定されているところから「指定工作物」と呼ばれる。

指定図（していず）

指定運動の中で、自社の商品の指定を明確にするために、施主や設計事務所の用紙に書く自社商品の図面、「折込図」ともいう。

自動給水装置（じどうきゅうすいそうち）

「加圧給水システム」に同じ

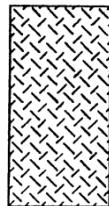
しの

ボルト孔を合わせたり、番線を締結したりするのに使用する道具。「鳶職」の必需品。

縞鋼板（しまこうはん）

表面に滑り止めのため
の縞模様がある鋼板のこと。
チェッカープレートともいう。

「踊り場付架台」の床などに用いる。



指名入札（しめいにゆうさつ）

適当と思われる業者数名を選んで同時に同じ場所で行われる入札方式。

尺度（しゃくど）

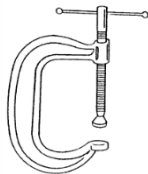
実物と図面に描き表わされる大きさとの割合を尺度という。現尺、縮尺、倍尺の3種がある。

遮光パネル（しゃこう——）

「IX パネル」に同じ。

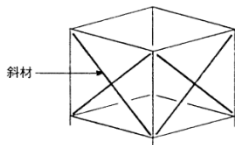
しゃこ万（——まん）

C 字形をした小形の万力。測定、組立などその用途は広く、大きさや形状も数多くの種類がある。



斜材（しゃざい）

筋違（すじかい）ブレースのこと。構造物を各荷重に対して強くするために、軸組の中に斜めに入れる部材をいう。

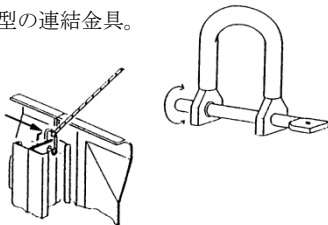


ジャッキ

重いものを押し上げるのに用いる器具。きりんジャッキは、ネジによるジャッキで、一般建築工事によく用いられ、その押上能力は 20 トンぐらいまでである。オイルジャッキは油圧によるジャッキで、押上能力は 100 トンぐらいまでである。

シャックル

U 字型の連結金具。



集中荷重（しゅうちゅうかじゅう）

部材の一点に集中して作用する荷重。（比較、「等分布荷重」）

周波数（しゅうはすう）

振動電流、電波、音波などが一秒間に方向を変化する度数。振動数単位はヘルツ（Hz）。

重量運搬（じゅうりょううばん）

重量が極度に重いものを専門に運ぶこと。

重量屋（じゅうりょうや）

重量運搬を専門に行う業者のこと。

主管（しゅかん）

配管のうち、主幹となる管のこと。尚、主管より分かれる管を支管という。

主筋（しゅきん）

鉄筋コンクリート部材に入れる鉄筋のうち、軸方向力または曲げモーメントを負担するもの。柱、梁では軸方向、床板では通常、短辺方向の鉄筋をいう。

主体工事（しゅたいこうじ）

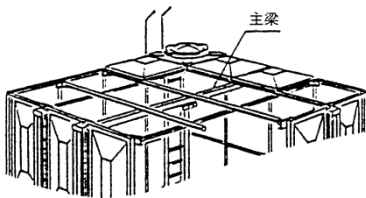
建築工事を大きく二分して主体工事と仕上工事とに分けることがあり、基礎工事から柱、梁、床などの骨格の工事までを主体工事という。木造、鉄骨造では建前まで、コンクリート造では、屋根またはペントハウスのコンクリート打ち上げまでをいう。

受水槽（じゅすいそう）

「上水道」から直に水を引き、貯水するタンクのこと。

主梁（しゅばり）

当社パネルタンクの部品名称。蓋パネルを支える梁材の内大きい方をいう。
（反対語「小梁」）



竣工（しゅんこう）

建物の建設が終了し完成すること。

竣工図（しゅんこうず）

「完成図」に同じ

竣工引渡し（しゅんこうひきわたし）

工事を受注した業者が、工事完成後施主側の検査（竣工検査）を受け、その建物を施主に引渡すこと。尚、この時点で工事を受注した業者はその工事に関しては手離れしたことになる。

純水（じゅんすい）

不純物が全く混ってない水。集積回路などの洗浄に用いる。尚、このタンクの販売に関しては、タンク内部への金属イオンの溶出を避ける必要があるので慎重に対応すること。

準不燃材料（じゅんふねんざいりょう）

木毛セメント板、石こうボードその他の建築材料で、燃焼性および発煙性に関し一定の防火性能を有するものをいう。

準防火地域（じゅんぼうかちいき）

市街地における火災の危険を防除するため、都市計画として定められる地域で、主として延焼火災防止を目的として定められる。

準工作物（じゅんようこうさくぶつ）

「指定工作物」に同じ。

ジョイントベンチャー

アメリカで発達した請負体制の一種で、大規模な工事で一社では請負いきれないような場合や、特殊な技術援助の目的などのために数社が共同で請負う方式。略して「JV」という。(同意語「共同企業社」)

消火水槽（しょうかすいそう）

消防法で消火設備に使用する水を貯蔵する水槽。屋内消火栓設備、スプリンクラー設備など設備によって貯水量が法的に決められている。水槽は消火用水を貯めるため、材質・大きさ・設置場所等は全て消防法（各所轄などの指導）に従う必要がある。それ故、材質については、不燃材である鋼板が主として用いられる。

消火設備（しょうかせつび）

水やその他の消火剤を用いて消火を行う機械器具や設備の総称。具体的には、①消火器および簡易消火用具 ②屋内消火栓 ③スプリンクラー ④水噴霧設備 ⑤泡消火設備 ⑥二酸化炭素消火設備 ⑦ハロゲン化物消火設備 ⑧粉末消火設備 ⑨屋外消火栓設備 ⑩動力消防ポンプ設備をいう。

消火栓（しょうかせん）

消火用ホースをつなぐ栓のこと。

（参照「屋内（外）消火栓」）

消火用補給水槽（しょうかようほきゅうすいそう）

消火設備に用いられる。消火栓やスプリンクラーの水出口まで、常に水が供給されている状態を保つために設置される。

昇降機（しょうこうき）

エレベーターやエスカレーターなどの運搬機械のこと。

仕様書（しょうしよ）

タンクの寸法・材質・規格、特殊構造などタンクの仕様に関する事を記述した書類。(同意語「スペック」)

上水道（じょうすいどう）

水道法上の水道のこと。同法によれば人の飲用に適する水を系統的に供給するための各種の施設の総体を水道と呼び、その規模あるいは内容から水道事業、水道用水供給事業、専用水道の3つの事業に分類される。尚、水道事業のうち計画給水人口が101人以上、5000人以下の水道を「簡易水道」といい、それ以上を「上水道」という。

照度（しょうど）

光がある面を照らす時、この面の単位面積が受ける光の量をいう。

単位はルクス。lx

照度率（しょうどりつ）

水槽内照度率＝水槽内照度÷水槽外照度
×100≦0.1%は、水槽内の藻類増殖防止
のために「FRP 協会」が自主的に定めた
値。尚、当社パネルタンクの水槽内照度
率は0.05%以下である。

承認願図（しょうにんねがいず）

納入しようとするタンクの各仕様の承認
を客先に願い出るために、提出する図面
のこと。

床板（しょうばん）

建築物の床のうち、構造耐力上主要な部
分となる構造床のこと。「スラブ」ともい
う。

消費税（しょうひぜい）

「付加価値税」に同じ。

消防法（しょうぼうほう）

火災を予防し、警戒および鎮圧し、国民
の生命、身体や財産を火災から保護する
とともに、火災や地震などの災害による
被害を軽減することを目的とした法律。

消防用設備（しょうぼうようせつび）

消火設備、火災の発生を報知する警報設
備、避難設備（すべり台、はしご、救助
袋、誘導灯など）消防用水および消火活
動上必要な施設（排火煙設備、連結送水
管非常用コンセントなど）をいう。

省令（しょうれい）

各省大臣がその主任の事務につき発令す
る事項。

恕限度（じょげんど）

衛生上許しうる度合という意味。人体に
対する悪影響、障害などを考慮して用い
られる最大許容度のこと。有毒ガス、騒
音、振動、照度などに用いられる。

シリコンシーラント

パネルの継目や隙間などに用いる目地剤。
合成樹脂製。

シリコン樹脂（——じゅし）

けい素を主成分とする合成樹脂。接着剤
などの原料となる。

伸縮継手（しんしゅくつぎて）

「エキスパンション」に同じ。

（参照「可とう継手」）

心々寸法（しんしんすんぼう）

2物体の中心線間の距離。

（比較「面間距離」、参照「ピッチ」）

震度（しんど）

一般的には地震動の強さを表す震度階の
意味で使用されるが、構造計算において
は、地震動の最大加速度と重力の加速度
との比をいう。この震度と建物の重量と
の積が地震力である。

信用調査（しんようちょうさ）

売掛債権の設定、金銭の貸付などの際に相手方の支払能力、財産の状態などを調べること。

す

巣（す）

鋳物の中にできる空き穴の総称。おもに鋳造のときガス抜きが悪かったためにできる。これができると鋳物の質は弱く、水もれなどのおそれがある。

水位（すいい）

貯水槽などの水面の高さを、高さによって表すもの。

随意契約（ずいいけいやく）

官公庁の工事発注形態の一つで「入札」によらず、業者と随意に契約することという。この形態は工事規模が比較的小さい場合に採用される。略して「随契（ずいいけい）」ということがある。

水撃（すいげき）

「ウォーターハンマー」に同じ。

水質検査（すいしつけんさ）

水に含まれている成分を化学的に調べ、検査すること。

水準器（すいじゅんき）

ガラス製の気泡管を利用して水平を出したり、水平面からの偏差（傾斜度）を測るのに用いる角度測定器。



水栓（すいせん）

給水設備で、開閉操作を行うものの総称。ハンドルやレバーを回して開閉や水量の調整を行うものが一般的。蛇口。カラン。「混合水栓」「単水栓」「シングルレバー水栓」

水槽診断士（すいそうしんだんし）

財団法人ベタリーピング協会が認定していた貯水槽の診断認定。法的な効力は無いが、適正な水槽診断を実施するため、顧客からの信頼が高まっている。現在、ベタリーピングは本認定制度は取りやめており、別機関での認定が検討されている。

水中ポンプ台（すいちゅう——だい）

水槽内部底板に取付ける水中ポンプの受け台のこと。台形底パネル用の1型、ビットパネル用の2型、パネル直置き用の3型がある。（写真は3型）



垂直震度（すんちょくしんど）

地面に対し、垂直方向の地震の強さ。K_vで表される。通常「水平震度」の 1/2 の値。

水頭圧（すいとうあつ）

水圧のうちポンプなどで加圧されていない水の深さ（高さ）のみによる水圧のこと。

水道規格（すいどうきかく）

水道に関する日本水道協会の規格をいう。

水封（すいふう）

「トラップ」に同じ。

水平震度（すいへいしんど）

地面に対し水平方向の地震の強さ。K_hで表される。見積もり時に入力する耐震仕様はこれに基づく。

スーパーバイザー

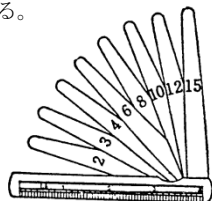
作業の監督者・管理者・技術指導者のこと。略して SV という。

据付金具（すえつけかなぐ）

タンクと架台を固定する金具。
（同意語「アンカーセット」）

すきまゲージ

いろいろな厚さの薄鋼板ゲージを組合わせたもの。ふつう 0.02mm～0.7mm までの厚さのものが 16 枚で 1 組になっている。何枚かを組み合わせていろいろの寸法のすきまを測る。



スクリーン

水槽内に異物が侵入しないよう取付けられる格子状の網のこと。

スケール

- ①図表を書く際の「尺度」のこと。
- ②メジャーのこと。
- ③パイプやタンクの内面に付着した汚れなどの不純物のこと。
- ④規模のこと。

筋違（すじかい）

「斜材」・「ブレース」に同じ。

スタイロフォーム

合成樹脂系断熱材の一種。商品名

スタンダード

基準の、標準のという意味。規格のことをもいう。

スチフナー

板が曲ったりすることを防ぐために取付ける補強材。

捨て穴（す——あな）

ある目的であけた穴で、使用後は不要となる穴のこと。

スチレン

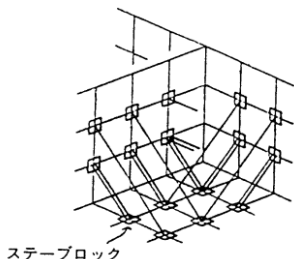
無色で芳香のある引火性液体。化学式 $C_6H_5 \cdot CH=CH_2$ 工業的にはエチルベンゼンの脱水素反応により大量に合成され、ポリスチレンや合成ゴムの原料となる。スチロール。

ステー

- ①ある部品を取付ける台座のこと。
- ②引張り材（補強材）のこと。

ステーブロック

当社旧パネルタンクの部材の一種。タンク内部の補強材を取付ける金具のこと。

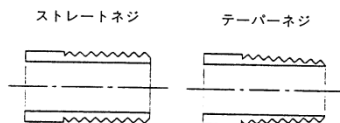


捨コンクリート（すて—）

基礎を作るとき工事をしやすくするためと、墨出し（柱や壁の位置を書き入れること）などのために、地固め面または割栗石面上に薄く敷くコンクリートのこと。

ストレートネジ

ネジ山に傾斜がついた「テーパネジ」とは異なり、ネジ山が軸と平行なネジのこと。



ストレーナー

ゴミを取除く網目状のフィルターのこと。
濾過器、こし網。

スパイラル

螺旋（らせん）のこと。

スパナ

ボルトを占める道具でサイズが決まっているもの。「モンキーレンチ」と混同せぬよう注意。



スパン

すべての支点間の距離、間隔を意味する。



スプリンクラー

- ①建物内の天井に取付け、火災時に自動的に放水するようにした消火装置。
- ②庭園農地などに人工的に散水する装置。

スプリング ワッシャー

ナットの緩みを防止するため、切込みを入れ、バネ効果を持たせた座金。

スプレーアップ

「ハンドレ」形成法の機械化の一種で、樹脂やガラス繊維を「スプレーガン」で吹き付ける装置。

スプレーガン

器内にたくわえた塗料などを空気の流れて吸い上げ、霧状にして品物に吹き付ける装置。

スペーサー

隙間を埋めるもの。

(同意語「ライナー」)

スペック

「仕様」のこと。specification の略。

墨入れ（すみ——）

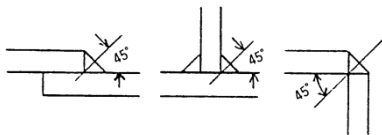
製図で、鉛筆で書いた原図の上をさらに墨で描くこと。

すみ打ち（——う——）

仕上作業の基準線を墨でしるすこと。

すみ肉溶接（——にくようせつ）

のど厚の方向が母材の面とほぼ 45°の方向をなす溶接。片面だけすみ肉をもったものを片面すみ肉、両面のものを両面すみ肉という。



スラッジ

沈澱物のこと。

スラブ

幅の広い厚板、平板をいう。建築では床の厚みのことを「スラブ厚〇〇cm」と表現したり、床を打つためにコンクリートを流し込むことを「スラブを打つ」という。

スリースバルブ

仕切弁、ハンドルの回転によって、管内を流水方向に垂直な隔板を上下させ、流水を調整するもの。

スリーブ

短く切った管のこと。Sleeve（袖）の意味から。

スレート

屋根ふき材料。天然のものは粘板岩が圧力を受けて変質したものであり、人工のものには石綿スレートなどがある。

スロッシング

液面揺動。地震動によりタンク内部の水が揺さぶられて、液面が激しく振動し天井や側壁上部に大きく作用すること。現在販売している新耐震仕様の水槽はスロッシング対策品である。

せ

制御盤（せいぎょばん）

制御開閉器（スイッチ）、信号灯、その他いろいろな計器を一面に配した盤のこと。

製作図（せいさくず）

作業員を対象に描れた実際の製作に必要な図面。一般に組立図と詳細図でできている。

制震構造（せいしんこうぞう）

地震による建築物の揺れを、建物自体で弱める構造。

（同類語「免震」）

生物化学的酸素要求量（せいぶつかがくてきさんそようきゅうりょう）

汚水中の腐敗性の不安定な物質が、水中の酸素を吸収しながらガスまたは無機物に変わるまでに消費した酸素量をいう。

「BOD」ともいい、この「BOD」値が大きいということは、水中の有機汚水物質が多いことを意味する。

整流板（せいりゅうばん）

タンク内部に取付け、水の流れを整えるための板のこと。

政令（せいれい）

- ①政治上の命令または法令。
- ②内閣の制定する命令。

積算（せきさん）

建物を建築するのに総額いくらの費用が必要かを算出すること。

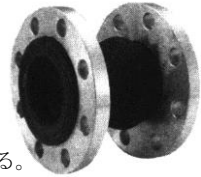
積算価格（せきさんかかく）

積算するのに必要な金額。通常、設計事務所や官公庁に提示する価格のこと。

セキスイフレックス

「可とう継手」の当社商品名。ゴム製の「フレキシブルジョイント」。

現在は廃止されている。



積雪荷重（せきせつかじゅう）

雪が積った場合の、一定面積に働く雪の重さ。

積雪仕様（せきせつしょう）

多雪施設の屋外に設置されるタンクの使用。主に蓋のはりと通気口の形状が通常と異なる。

セクションペーパー

方眼紙のこと。

施工規則（せこうきそく）

実際に機器・設備を設置する場合の規則。

施工図（せこうず）

建築工事の実際の施工を図面にしたもの。設備工事の場合、タンク回りの配管やポンプ、バルブの設置場所など、実際の配管状態を図にしたもの。尚、タンクの販売に際しては、この施工図を設備業者より入手することは、相手の意図するところがよく判り、打ち合せミスの防止に役立つ。

施行令（せこうれい）

各省庁から出される命令または法令。

施錠ボルト（せじょう——）

南京錠が取付けられるようネジ部に孔を明けたボルトのこと。マンホールの施錠部に使用している。

設計価格（せっけいかかく）

「積算」に用いる価格のこと。
（同意語「積算価格」）

設計監理（せっけいかんり）

設計図通り建物が建築されているかどうか監理し、必要に応じて指示を与えること。通常、設計事務所が行う。

設計用震度

（参照「地震力」「耐震・仕様」）

接地（せっち）

「アース」に同じ。

設備工事（せつびこうじ）

建築に必要な設備である、給排水設備衛生設備・空調設備・電気設備などの工事の総称。

ゼネコン

general contractor の略。

建築に係る全ての工事を一括して請け負った業者のこと。一般的には建設会社をいう。（比較「サブコン」）

ゼネレーター

発電機のこと。

セパ

separate の略。

向いあうコンクリート型枠を連結する長いボルトのこと。

センサー

温度センサー、湿度センサーなど何かを感知するもののこと。

センターライン

中心線のこと。図面記号としては「 Φ 」で表される。

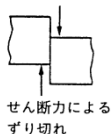
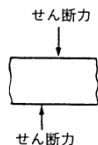
センタークリート

当社旧パネルタングの部品の一種。

「仕切板」下部に取付ける変形「コーナープロック」を上から押えつける金具のこと。「仕切板」専用部品。

せん断力（——だんりょく）

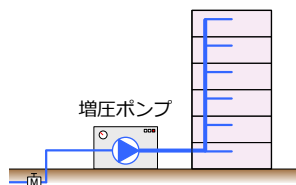
物質をずり切るような力をいう。例えば、梁などでは梁の上の重みと、柱が支える力とで、梁の端で梁と直角にずり切れるような力が働く。



そ

増圧方式（ぞうあつほうしき）

建物が高くて水道本管の水圧では給水できない場合に、増圧ポンプで圧力を高めて、各階へ給水する方式。



騒音（そうおん）

個人差や馴れがあるので厳密に規定しにくい、感覚的にやかましいと感じ、不快感をともなう音のこと。騒音のレベルとしてはホンを用いる。特性としては、周波数の高い音の方が不快感が大きく、また80ホン以上の騒音を永続して聞くと聴力の障害やその他生理的悪影響を与える。

層間変位（そうかんへんい）

地震などの水平力により多層構造物が変形するとき、ある層の床と真上（真下）の床との水平方向の変位をいう。

相殺（そうさい・そうさつ）

互いに差し引いて損得なしにすること。

造作（ぞうさく）

建物内部の仕上材、取付物の総称。

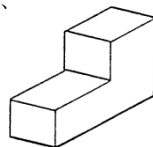
藻類（そうるい）

藻（も）のこと。水産の下部隠花植物中、葉緑素を持ち発育条件がそろえば増殖する小さな植物。水槽では、槽内の藻の発生が槽内への光の透過が原因ということで、一時間問題になった。（参照「照度率」）

側面L型タンク（そくめん——）

一つのタンクではあるが、高さが異なり、側面から見た形がL字形になったタンクのこと。

（参照「異形タンク」）



現行の SPF シリーズでは設計対応不可なので注意の事

ソケット式取出口

（——しきとりだしぐち）

受け口。取出口や配管継手の形態の一つ。「フランジ」タイプではなく、ネジ込み、差込みまたは溶接構造のものをいう。

阻集器（そしゅうき）

「グリーストラップ」に同じ。

外梯子（そとばしご）

タンク外部に取付けられた梯子のこと。当社標準品は、鋼製・溶融亜鉛メッキ仕上げであるがオプションでステンレス製もある。又、タンク高さ 1.0m^H への取付けも「オプション」仕様。外部タラップともいう。

外補強（そとほきょう）

パネルタンクの補強構造の一種。水圧をタンク外部に取付けた補強材で受け止める構造のものをいう。タンク内部に補強材がないのが特長（セールスポイント）である。

（反対語「内部補強」）

損失水頭（そんしつすいとう）

流体が流動するとき、摩擦、衝撃、その他で生じる流動運動エネルギーの損失を水柱で表したもの。

た

ターゲットパッキン

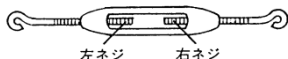
当社旧 F パネルタンクの部品の一種。仕切板取付部、底のパネル接合部を外からシールするために用いるパッキン。

タービンポンプ

案内羽根を備え水勢を圧力に転換する機構のポンプ、高所に揚水することができる。

ターバックル

ネジにより引張り材の長さを調節するとができるようにしたもの。



耐火型（たいかがた）

火災の際に、建築基準法に定められた一定時間延焼しない構造をもつもの。

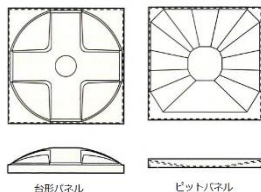
大気圧（たいきあつ）

大気の圧力のことで、通常水銀気圧計の水銀柱の高さで測る。気象に関してはミリバール（mb）単位を用いる。

台形パネル（だいけい——）

当社FRPパネルタンクの底パネルの呼び名。よこから見た形が台形に似た形をしていることからこう呼ばれている。

「ビットパネル」と明確に区別すること。



第三セクター（だいさん——）

地域開発や都市開発など社会資本建設の事業主体の内、政府、企業のいずれにも属さない第三の部門。

大臣告示（だいじんこくじ）

特に各省の大臣の名称をもって発する命令、法令。

耐震仕様（たいしんしょう）

地震時のタンクの強度に関する仕様の1つ。「水平震度」 $K_H=1.0G$ 、 $1.5G$ 、 $2.0G$ の3種の地震に耐えうるそれぞれの仕様がある。（参照「地震力」）

耐震認定（たいしんにんてい）

各メーカーのFRP製タンクが、地震に対して十分な強度があることを、「強化プラスチック協会」が認定すること。現在は廃止となっている。

ダイス

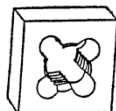
おねじを切る工具、丸ダイスと角ダイスがある。ダイス回しで固定し、柄を回わしてねじを切る。



ダイス回し



角ダイス



丸ダイス

耐水合板（たいすいごうはん）

ベニヤを重ねて作る合板のうちで、フェノール樹脂接着剤などの耐水性のよい接着剤を使ったもの。

耐雪仕様（たいせつしょう）

多雪地域の屋外に設置されるタンクの仕様。主として、蓋はりと通気口の形状が標準とは異なる。

大腸菌（だいちょうきん）

人や動物の腸管内や土壌に存在し、水道水中に大腸菌が検出された場合は、病原生物に汚染されている疑いがある。

ダイバーシティー

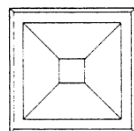
企業が多様な人材を活かし、能力を最大限発揮できる機会を提供することでイノベーションを誘発し、価値創造を実現する経営手法のこと。

代引き（だいび——）

代金と引換えに商品を客に手渡すこと。

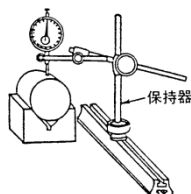
ダイヤカット

当社旧Fパネルタンクのパネルデザインのこと。



ダイヤルゲージ

たわみ幅など変動するものの変動寸法を測る計測器。ダイヤルインジケータともいう。

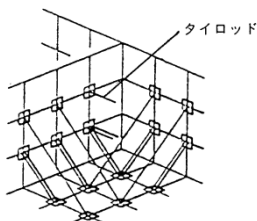


耐用年数（たいようねんすう）

建物、機器、装置などの仕様に耐えうる期間。尚、FRP水槽は通常15年とされている。

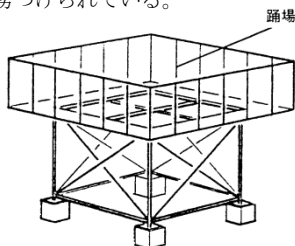
タイロッド

当社旧パネルタンクの部品の一種。向い合う側パネルどうしを引張り合う補強材。（同類語「ステー」）



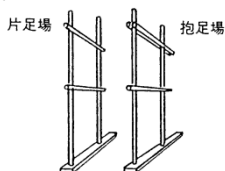
高架台（たかがだい）

脚の付いた架台で設置床からの高さが2.0m^H以上のものには、踊場を付けることが義務づけられている。



抱き足場（だ——あしば）

丸太を建地の両側に取付けた一側足場のごと。尚「建地」とは足場の縦方向の丸太をいう。



ダクト

空調や換気用の空気を輸送するための管のこと。通常は鉄板で作られ、角型と丸型とがある。

多段積みタンク（ただんづ——）

タンク高さが2.5m^H以上のパネルタンクのこと。

立ち上がり管（た——あ——かん）

下から上へ立ち上がったパイプのこと。水は上に向かって流れる。

タッチアップ

表面の小さな傷を補修すること。

タッパ

床から天井までの寸法のこと。天井高さ。

タッピング

「取出口」の取付のこと。

タッピンネジ

ネジ孔断面にネジが食い込むように加工が加えられたネジ。ナットによる固定が困難な場合に用いる。

縦持ち（たてもち）

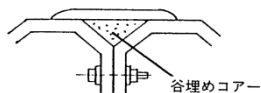
パネルタンクの部材をトラックから組立現場まで運搬する際の上下方向の運搬をいう。尚、水平方向の運搬は「横持ち」という。

棚卸し（たなおろ——）

材料、製品、加工仕掛品などの残高を实地調査して、帳簿残高と照合し、常に帳簿が実際の残高価値を示すように管理する業務をいう。棚卸時期は通常、決算時に行われることが多い。

谷埋めコアー（たにう——）

旧Fパネルタンクのパネル接合部内側にあるV字状の溝を埋めるウレタンフォームのこと。



ダブルナット

ナットを2個使ってボルトを締めること。ナットの緩み防止の一種。

玉掛け（たまか——）

レッカーなどによる揚重時に、品物にワイヤーやロープなどを巻き付ける作業のこと。尚、この作業は「玉掛け作業技能講習修了者」が行うよう規定されている。

貯得（ためとく）

給水設備の受水槽や高架水槽は、建物側の水の使用量によって常に水位が変動している。水の使用量が多いときは、水位が下がり、水の使用量の少ないときには水位が上がる。貯得は、水槽内の水位が低い時に地震が発生した場合に水槽の水を満水にする災害時対応型給水システム。

タラップ

梯子（はしご）のこと。尚、英語では LADDER

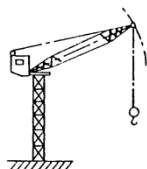
垂れ壁（た——かべ）

防煙壁など天井面から下方に突き出した壁のこと。

タワークレーン

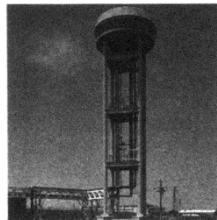
建築資材の昇降運搬器。高層建築物の建設現場にて用いる。動力で回転しロープを上下して資材を運搬する。

タワーで自立しブームの支点が高いので障害が少ない利点がある。上方に継ぎ足してタワーを高くすることができる。



タワータンク

鉄塔の上に設置されたタンクのこと。



単管足場（たんかんあしば）

金属製のパイプを継手金物を用いて組立てる足場。

短期荷重（たんきかじゅう）

ある短い時期にだけ働らく荷重。地震のときに働らく荷重、風の荷重、雪の重みなどをいう。

（反対語「長期荷重」）

弾性（だんせい）

すべての材料は力を受けると変形するが、力を取り去ると多くの材料は元の形に戻ろうとする。このように力を受けて変形したものが元に戻ろうとする性質を弾性という。

弾性係数（だんせいけいすう）

弾性限度内においては「応力度」は「ひずみ度」に比例する。すなわち、 $\text{応力度} = \text{定数} \times \text{ひずみ度}$ であり、この定数を弾性係数（ヤング率）という。

弾性限度（だんせいげんど）

材料が弾性を示しうる範囲を越えて応力度が加わると、応力を除いても材料は元の形態に戻らなくなる。この限度を弾性限度という。

担体槽（たんたいそう）

担体とは水を浄化する微生物が付着しやすくした小さい物体である。この担体を槽内に投入し、曝気槽と同様に、水槽内に多量の空気を送り込み、微生物の力で汚れた水をきれいにする。曝気槽に比べて効率が高くなり、担体が流出しないようにスクリーンなど設置し対策が必要。

単独運転（たんどくうんてん）

複数の同種機械の内、一機だけが運転、稼働すること。

断熱材（だんねつざい）

熱伝導率が比較的小さく、保温、保冷に適している材料。ロックウール、ガラスウール、石綿、スチロール、ウレタンフォームなどがある。

ダンパー

「ダクト」に取付けられた空気の流れを調整する弁のこと。

単板（たんばん）

FRP だけで造られた板のこと。
（比較「サンドイッチ板」「複合板」）

断面係数（だんめんけいすう）

材料の曲げ強さを表す数値で、曲げ応力度を出すとき使う。これは断面の形と寸法で定まり、この数値が大きなものほど曲げに対して強い。

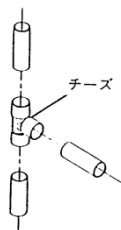
ち

地域暖房（ちいきだんぼう）

一箇所または数箇所のエネルギーセンターから広い地域に散在する多くの建物に高圧蒸気や高圧温水を暖房熱源として供給する暖房方式をいう。

チーズ

配管継手の一種。
T字型に配管を分岐さす場合に用いる。



チェンブロック

滑車の原理で重量物を釣り上げる道具。
ロープの働らきを鋼製の鎖（チェーン）が行うためこの名がついている。

地階（ちかい）

床が地盤面より下であって、天井高さの1/3以上地盤面下に入っているものをいう。

蓄熱槽（ちくねつそう）

貯湯槽が「湯を貯める」という機能を示す名称であるのに対し、この蓄熱槽は「熱（冷熱・温熱）を蓄える」という機能を持つ。それ故、タンク内部には、熱交換器や槽内配管等がセットされる事が多く、用途を明確に底別するため、「温水蓄熱槽」・「冷水蓄熱槽」また、季節に応じ、双方を使い分けるような場合には、「冷温水蓄熱槽」という呼び方をしている。

地耐力（ちたいりょく）

地盤が荷重に耐え得る力のこと。地耐力が弱い地盤にタンクを設置すると基礎が沈下し、タンク破損の恐れがある。

チャンネル

「溝型鋼」に同じ。

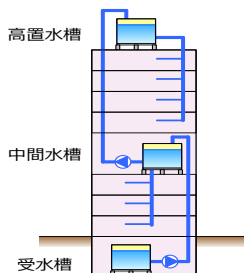


チャンバー

部屋、室、小部屋のこと。

中間水槽（ちゅうかんすいそう）

高層ビル（地上 60m 以上）や超高層ビル（地上 100m 以上）の建物の場合、屋上の水槽から一気に下に向けて給水すると、器具、配管に大きな水圧が働きます。そこでこの水を建物の中で一旦受け止め中継しているのが中間水槽である。



鑄鉄（ちゅうてつ）

いもの用に使われる鉄。軟鋼に比べると含有炭素量が多く、粘りが少なく、もろいのが特徴。

長期荷重（ちようきかじゅう）

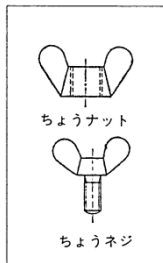
構造物に長期間作用している荷重。固定荷重と積載荷重の合計。タンクの場合、タンクの自重と水の重量の和をいう。（反対語「短期荷重」）

超高層ビル（ちょうこうそう——）

地上 100m 以上の高さのビルをいう。

蝶ナット

特殊ナットの一種。ちょうの形をしていることからこの名がある。指先で回して締付ける。簡単に取りはずしする部分に用いられる。蝶ネジも同じ。



直圧（ちよくあつ）

「上水道」の水圧だけで給水すること。尚、この場合、受水槽は不要となる。

貯水槽（ちよすいそう）

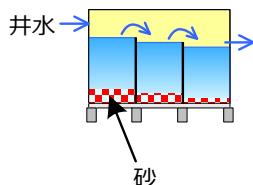
水を貯める施設・設備のこと。上水道用水のほか工業用水、防火用水などの用途がある。受水槽、高置水槽、圧力水槽に大別される。

貯湯槽（ちようとうそう）

「ちよゆそう」ではないのでご注意。読んで字の如く、「湯」を貯めるタンクのこと。一般的には、ボイラーなどで、加熱された湯を貯めるのに用いる。貯湯槽には、ボイラー設備と直結した密閉式貯湯槽と、ボイラー設備で昇温された湯を貯める開放式貯湯槽があり、当社は、開放式貯湯槽。タンク内部に熱交換器や加熱コイル等がセットが可能。

沈砂槽（ちんさそう）

井水（井戸水）を貯めるのに用いる。井水の場合、砂が混じっている事が多く、この砂を沈澱させて取り除き、貯水するのが沈砂槽。



沈殿槽（ちんでんそう）

排水処理槽の一種で、排水に含まれる固形物（汚泥）を沈降分離させるタンク。入口は中央部にあり、上部からきれいになった水（上澄水）を取り出し、底部からは溜まった固形物を引き抜く。円筒型のタンクで、底部に傾斜にすることが多い。

つ

通気口（つうきこう）

「エアア抜き」に同じ。
50Aと100Aの2種類がある。

吊り足場（つ——あしば）

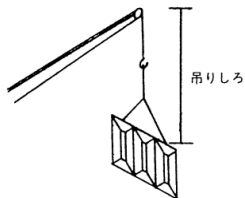
高層建築物の外部作業に用いる足場。屋上や任意の階から屋外に 1.5～2.0m 突出た突きばりにロープを吊るしこれに巻揚機を備えつけたゴンドラを取り付ける。

吊り環（つ——かん）

（「アイナット」「アイボルト」参照）

吊りしろ

レッカーや「ユニック車」でタンクを吊り揚げる際の、タンク上部のワイヤー寸法の余裕のこと。懐（ふところ）ともいう。



て

T字パッキン（ティーじ——）

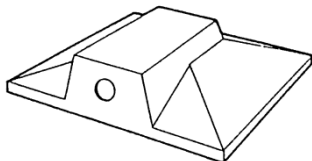
当社パネルタンクの部品の一種。断面形状がT字型をしたパッキンのことで、パネル接合部の端に用いる。

TS ソケット（ティーエス——）

塩ビパイプの継手の一種。接着剤を塗ってパイプを差し込む構造のものをいう。

TX パネル（ティーエックス——）

「取出口」取付専用パネルで、図の形状のものをいう。有効水量を増やしたい時や、吐水口空間を維持するために用いる。



低水位仕様（ていすいししょう）

水位センサー等を用いた低水位運転を想定した特注仕様。

通常、SUS タンクの本体パネル及び中仕切りフレームと、F パネルタンクの中仕切りフレームは、想定される気相部範囲（水槽上端より 70 c m 程度）のみ SUS329（耐腐食性の高い材質）を使用していますが、あらかじめ低水位運転を想定し遊離残留塩素による腐食を防止するため、本体パネルの SUS329 使用範囲を拡大したり、中仕切りフレーム等にナイロンコーティングを施す仕様の事。

定格（ていかく）

電気機器を使用するに当たり最も適当と決められた出力、速度、電圧、電流回転数などの値。これらの定格値を増減すると、損失、温度上昇、通風不十分などの不都合が起こるので、効率の点も考え定格運転することが望ましい。ふつう機器の銘板に記されている。

定尺（ていしゃく）

鉄骨とか鉄筋、木材などの市場に出ている製品は、長さが何種類かに定まっている。この長さを定尺という。構造物の寸法を決めるときに、定尺をよく知っていれば無駄なく材料を使うことができる。

（参照「歩留り」）

定水位弁（ていすいびん）

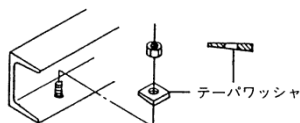
タンクの水位がある一定の高さに達すると自動的に水の流れを止める働きをする弁のこと。

テーパー

勾配、傾斜のこと。

テーパワッシャー

「チャンネル」にボルトを締結するとき使用する、断面が図の形の座金をいう。傾斜座金・勾配座金ともいう。



出来高払い（できだかばら——）

建築工事の場合、一定期間内に行った作業の出来高に応じて支払いをする方法。

デシベル

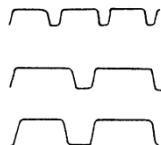
音の強さの度合を表す単位。dB と書く。

テストピース

供試体、試験体のこと。一定の規格で作られたものをいう。

デッキプレート

強度を保つために合理的な形状に波付けされた床用の鋼板。コンクリートスラブの型枠として、特にサポートが不要であり、工事中は足場としても使えることから、高層ビルなどに多く利用されている。断面の形状には図のようにいろんなものがある。



手積み積層法（てづ——せきそうほう）

FRP製品を成形する工法の一つでガラス繊維にポリエステル樹脂を手作業で「含浸」させる工法。

（同意語「ハンドレ」）

手直し（てなお——）

工事の部分的なやり直しのこと。

デラパネル

当社 FRP パネルタンクの商品名。パネル断面が「サンドイッチ構造」になっている。外面形状が「ダイヤカット」ではなくフラットであるのが特徴。尚、この商品は現在生産を中止している。

電圧（でんあつ）

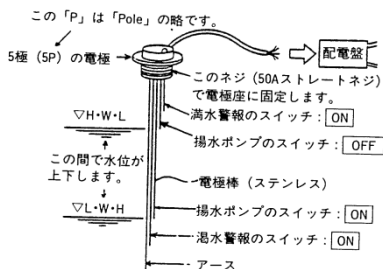
二点間の電位の差。電位差と同義であるが、実際面での用語。

電気腐食（でんきふしょく）

金属面に電位差を生じて腐食すること。地中埋設管などが、アースなどから流れる迷走電流によって腐食することをいう。

電極座（でんきよくざ）

揚水ポンプのスイッチの開閉を行ったり「満水警報」や「減水警報」を鳴らしたりするために、水位を感知する電極棒を取付ける座のこと。通常 50A のネジ込みソケット。



電気メッキ

メッキされる品物を陰極とし、その表面に電解によって他の金属を被覆する工法。金、銀、銅、クロム、ニッケルなどのメッキがある。

電子記録債権（でんしきろくさいけん）

手形・指名債権（売掛債権等）の問題点を克服した新たな金銭債権。電子記録債権ならではの利便性が付加され、支払企業（債務者）にも納入企業（債権者）にも紛失や盗難の心配がない、領収書の発行不要、手形発行・發送業務削減や印紙税などのコストが削減できる等メリットがあり、取引の安全性も確保されている為採用する企業が増えている。

電磁弁（でんじべん）

電磁石と弁を組み合わせたもので、電気を ON、OFF することにより、空気や水などの流体を止めたり、流したり、また流れの方向を切り換えるもの。

天井高（てんじょうだか）

床面から天井下端までの高さ。天井の高さが異なる部分がある場合は、その平均の高さによる。居室にあつては、2.1m以上、学校の教室にあつては3.0m以上必要である。

天地（てんち）

上と下、あるいは縦のこと。

天端（てんば）

上面、頂きをいう。
（反対後「下端」（したば））

天窓（てんまど）

天井に設けられた窓。

テンプレート

型板のこと。①製図用具、文字板。
②アンカーボルトの位置決め用「治具」。

と

ドアーチェック

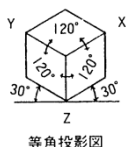
ドアを自動的に閉じるための装置。ドアークローザーともいう。

土圧（どあつ）

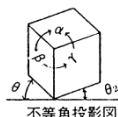
建物の地下部分や擁壁に作用する周囲からの土の圧力。

等角投影図（とうかくとうえいず）

図に示すように
3軸の投影図が
120°づつの等角に
交わるときの投
影図の描き方を
いう。



等角投影図



不等角投影図

凍結防止溶液タンク

（とうけつぼうしゅうえき——）

冬場に道路に散布する凍結防止溶液を貯留するタンク。凍結防止剤は、塩化カルシウム、塩化ナトリウム、酢酸ナトリウムなどが利用され、その比重により、タンク仕様を検討・設定する。

等分布荷重（とうぶんぶかじゅう）

構造物または材に作用する荷重で、均等にならされて作用する状態のものをいう。

塔屋（とうや）

屋上から凸型に突き出た部屋のこと。
（同意語「ペントハウス」）

通り芯（とおりしん）

鋼材の長手方向の芯、建築工事の場合、向いあ鉄骨柱の中心を結ぶ仮想の線をいう。

トーチランプ

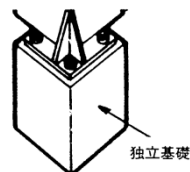
小型の携帯ガスバーナーのことで、主として塩ビパイプの加熱に用いる。

特殊仕様（とくしゅしょう）

「標準仕様」の逆。（同意語「オプション仕様」）

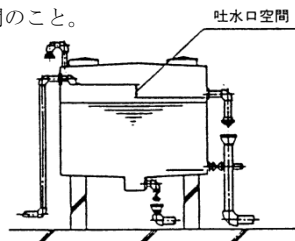
独立基礎（どくりつきそ）

コンクリート基礎の形帯の一種。「ベースプレート」部分のみで加重を受ける基礎のこと。
（参照「基礎」）



吐水口空間（とすいこうくうかん）

水位の上限（HWL）と入水口との間にあ
る空間のこと。



吐水量（とすいりょう）

水槽内に一定以上の水が貯えられた場合、余分の水を槽外に排出する。この時の排出量を吐水量という。

トップコート

上塗りのこと。

トップステー

当社パネルタンクの部品の一種。タンク内部の上端に取付ける引張材。

薦（とび）

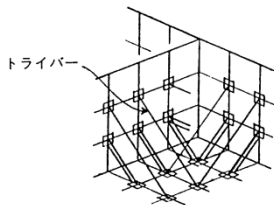
高所作業や重量運搬を専門に行う職人の総称。

ドライヴィット

コンクリートや鉄材に釘を打つ装置。火薬で打ち込むものと、ハンマーで打ち込むものがある。一般に釘のきかないコンクリート壁に配管支持を行ったりするのに用いる。

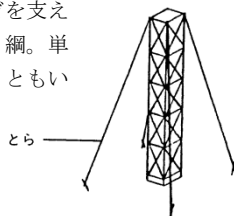
トライバー

当社旧パネルタンク部品の一種。底パネルと側パネルを斜めに支持する補強材。



虎綱（とらづな）

タワーなどを支えるのに使う綱。単に「とら」ともいう。



トラップ

衛生器具に近い排水配管の一部に水をためて臭気などの逆流を防止する装置。一般に排水トラップ、水封トラップという。（参照「管トラップ」）

トランシット

測量器械、2地点間の水平角を測定するのに用いる。望遠鏡は水平軸のまわりに360°回転できるようになっている。

鳥居配管（とりいはいかん）

障害物を避けるために上に凸型に配管すること。形が鳥居に似ているので鳥居配管と呼ばれる。給水管など圧力がかかっている配管は上り勾配に配管するが、一度上向きに登った配管を下向きになるような配管をすると、頂天部の管内に空気がたまり易いので避けるべきである。ふだん水が詰まっている配管に空気がたまると、空気の影響で流量が変化し、ウォーター・ハンマーや振動を起こしやすくなる。鳥居配管が避けられない場合は、頂天部に空気抜き弁を設置する。

取出口（とりだしぐち）

溶液の出し入れをするためにタンクに開けた穴のことで、パイプが接続できる構造となっている。

（同意語「タッピング」「ノズル」）

トリハロメタン

水道水に含まれる塩素と他の有機物が化合したもの。塩素化合物。

トルクレンチ

ナットの締付強度を測る計測器。

ドレン

排水のこと。

ドレンピット

完全に排水するため、「ドレン」取付部分を一段下げ、箱状にしたもの。

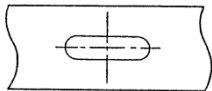
な

ナイロンコーティング

ナイロンで被覆すること。ナイロンの種類は白色のナイロン 11 とグレー色の 12 がある。

長穴（ながあな）

横に細長い穴。

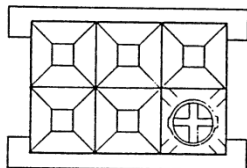


中仕切り（なかしきり）

「仕切板」に同じ。

長手基礎（ながてきそ）

通常、コンクリート「下駄基礎」はタンクの縦横寸法の内、長手方向と直交し平行に並べられるが、逆に短手方向と直行するように並べられた基礎のこと。



ナット

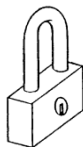
「インパクトレンチ」に同じ。

生コンクリート（なま——）

一般に「生コン」と呼んでいるが、正しくはレディーミストコンクリートである。コンクリート工場で調合し、ミキサートラックで練り混ぜながら現場へ持込みすぐ打込めるようにしたもの。

南京錠（なんきんじょう）

図の形の錠をいう。



軟水（なんすい）

（参照「硬水」）

に

逃墨（にげすみ）

基準になる位置からある寸法だけ避けた位置に打つ墨。

二次店（にじてん）

メーカーから直接仕入れるのではなく、一次「特約店」を経由して二次的に仕入れる販売店のこと。

二重マンホール（にじゅう——）

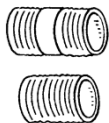
マンホールハッチが二重構造になったものの。特殊仕様。例えば、東京都仕様では屋外高置水槽に取付が義務付けられている。

荷姿（にすがた）

運搬時または搬入時の梱包された姿、形のこと。

ニップル

両端におねじをもつ継手管で、端部にめねじを切った管にねじ込んで接続を行う。



日本工業規格（にほんこうぎょうきかく）

「JIS 規格」に同じ。

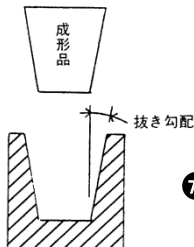
入札（にゅうさつ）

（参照「公入札」）



抜き勾配（ぬきこうばい）

成形品を型から離型しやすくするために加工した傾斜のこと。



抜取検査（ぬきとりけんさ）

1 ロットの品物から抜き取った試料を調べ、その結果を判定基準とくらべて、そのロットの可否を決める検査。

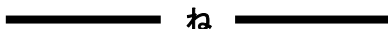
布基礎（ぬのぎそ）

柱列あるいは壁下に沿い細長く連続した基礎。（参照「基礎」）

布丸太（ぬのまるた）

丸太足場で横方向の丸太をいう。

（参照「本足場」）



ネオプレン

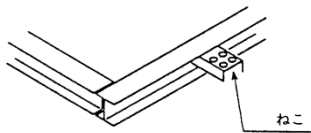
合成ゴムの商品名（デュボン社）。材質はクロロプレンゴム。

根ざり（ね——）

基礎をつくるために、地面を掘り下げること。

ねこ

何かを取付けるために、凸状に突き出た部分のこと。



ネゴ

negotiation (ネゴシエイション) の略。商談・交渉の意味で、通常「ネゴする」という場合「販売価格の最終交渉をする」ことの意味。

熱回収 (ねつかいしゅう)

そのまま放置しておくと消失してしまう熱エネルギーを、再度熱源として利用するため集めてくること。

熱回収槽 (ねつかいしゅうそう)

タンクの貯留水の温度が高い場合は、槽内に内蔵された熱交換機で、給水される水を温めることができる。また、タンクの貯留水の温度が低い場合は、槽内に内蔵された熱交換機で、給水される水を冷やすことができる。このように熱回収（交換）する目的で設置する事を明確にする為、この名称が付けられた。

熱貫流率 (ねつかんりゅうりつ)

ある固体壁で隔てられた両側の壁体に接した空気間の熱授受の割合を表す常数で、単位時間に単位面積を通して単位温度差があるときに流れる熱量をいう。

単位は $\text{W}/\text{m}^2 \cdot \text{K}$ 。

熱伝導率 (ねつでんどうりつ)

物質の熱伝導性を示す係数、断面積 S 、長さ L の物質の両端の温度差を θ とすると、単位時間に流れる熱量 Q は、 $Q = \lambda S \theta / L$ で表される。この λ を熱伝導率という。

単位は $\text{W}/\text{m} \cdot \text{K}$ 。

熱負荷 (ねつふか)

熱エネルギー発生源または変換装置において、そこで発生する出力熱エネルギーを消費するもの、もしくはその大きさ。

熱容量 (ねつようりょう)

ある物体の温度を 1°C 上げるのに必要な熱量。熱容量の大きい物体は温まりにくく冷えにくい。

の

ノギス

現場用精密測定具の一種。長さの他に、厚さ、深さ、球、穴の直径を読み取ることができる。



ノズル

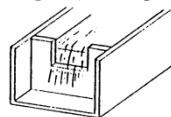
「取出口」のこと。

ノッチ効果 (——こうか)

小さな切り欠きが原因となって、切り欠き部分から亀裂が走ること。

ノッチ

一般に切り欠きや、切り吹きのある部分をいう。水力学ではせきの小さいものをいう。



ノンスリップ

FRPパネルタンクの表面に加工した滑り止めの突起。

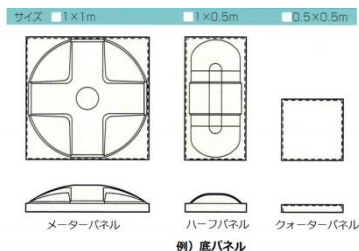
旧Fパネルでは蓋パネル及び底パネルに施していたが、現在では蓋パネルのみとなっている。

は

ハーフパネル

パネルタンクを構成する各種パネルの内幅が50cmのものをいう。

(比較「クォーターパネル」)



ハイ・ウォーター・レベル

High Water Level

(参照「HWL」)

廃液槽 (はいえきそう)

生産設備などで発生する洗浄水や、オイルなどが混じった廃液など、下水に直接流すことができない液体を貯留するタンク。必要に応じてFRPライニングを行う。使用には慎重な検討が必要の為、内用液の確認が重要。

配管設備 (はいかんせつび)

配管設備には、給水配管、排水配管、電気配管、ガス配管、給湯、冷暖房用配管などがある。

配筋 (はいきん)

コンクリート内部の鉄筋のこと。コンクリートを流し込む前に鉄筋を並べること。

バイス

「万力」(まんりき)のこと。

排水口 (はいすいこう)

タンク内の溶液を排出するための「取出口」のこと。(同意語「ドレン」)

排水槽 (はいすいそう)

建物内から排水される水を貯めるタンクのこと。下水や河川に直接放流できない場合に、水を処理する目的で設置されます。

配水池 (はいすいち)

浄水池などで浄化された上水を一時貯溜して給水量の調節をはかる配水施設。

配水塔 (はいすいとう)

地上または屋上に高く築造して、上水を貯え、使用水量の時間的变化に対応してこれを調整する水槽。

排水ピット (はいすい——)

「ドレンピット」に同じ。

配電盤（はいでんばん）

電気設備をコントロールするために、スイッチやメーター類をひとまとめにした操作盤、「分電盤」ともいう。

ハイテンボルト

ハイテンションボルトの略。通常のボルトに比べ、強い引張強度がある。

バイパス

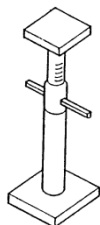
配管経路を表現する言葉で、意味は道路の「バイパス」と同じ。タンクと接続する配管を分岐させ、タンクを経由しない配管経路を合わせ持つこと。

パイプ足場

鋼製のパイプを使用する足場。

パイプサポート

鋼製の型枠支柱。
パイプと中子より
なり、ねじやピン
で高さを適当に調
節できる。反覆使
用が可能。



パイプシャフト

建物の各階を通じ、上下水道、電気、ガス、などの設備用のタテ管を収納するスペース。

パイプダクト

配管をまとめて配置する横走りの囲われた空間のこと。

パイプレンチ

管を回わして管継手、その他付属品にねじ込む工具。略して「パイレン」と呼ばれる。

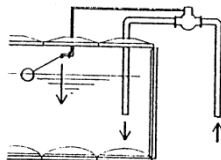


ハイブリット盤(当社商品名)（——ばん）

緊急遮断弁と圧力式水位センサーをセットとしてコントロールできる制御盤。

パイロット

受水槽の給水管を分岐させ、管の先に「ボールタップ」を取付けた配管のこと。
（参照「F号ボールタップ」「複式配管」）



羽子板ボルト（はごいた——）

ボルトの一端が羽子板状の平板となっているもの。



箱抜きアンカー（はこぬき——）

アンカーボルトの取付工法の一つ。コンクリート基礎にアンカーボルト埋込用の穴を予め大きいめ（約8cm前後）に明けておき、アンカーボルト挿入後モルタルを充填し、固定する。（参照「スリーブ」・「ボイド」）

バタフライバルブ

バルブ（弁）の一つ。弁の開閉の仕組みが、蝶（バタフライ）の羽を広げたような1枚の板を回転させる構造であることから、この名が付けられている。

ばっ気（曝気）槽（——きそう）

排水処理槽の一種で、水槽内に多量の空気を送り込み、微生物の力で汚れた水をきれいにするタンク。槽内に空気を送り込む配管がされている。

パッキン

管の継目や、そのほか接合部から液体や気体がもれないように詰物をすること。尚、厚みの薄いパッキンを特別に「ガスケット」という。

はつる

固ったコンクリートや岩を打ち砕きながら削り取ること。

パネルタンク

予め工場で生産されたパネルをタンク設置現場へ搬入し、現場でこのパネルをボルトにより組立てるタンクのこと。

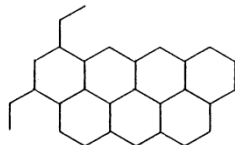
（比較「一体型」タンク）

パテ

FRP成形材料の一つ。「ハンドレ」成形の際、凹凸部をならしガラス繊維がなじむようにするための下地に用いる。

ハニカム

蜂の巣状の構造をいう。熱硬化性樹脂を「含浸」させたクラフトペーパーやアルミ箔などを六角形の蜂の巣状に貼りあわせたもの。「サンドイッチ構造」の芯材「コア」に用いる。



パラベット

屋上や吹抜廊下に設けられる手すり壁のこと。

バルジング

地震時の側壁に作用する変動水圧を云う
天井スロッシングにたいする側壁に作用する圧力

パレット

フォークリフトによる荷物の移動や揚げ降ろしが容易に行えるよう、荷物の下に敷く受台。

(参照「りん木」)

販促活動（はんそくかつどう）

直接の販売活動ではなく、販売の促進を目的とした活動全般のこと。

パンチングメタル

規則正しく数多くの孔が明いた鋼板のこと。

ハンドレ

HAND LAY UP の略。

(参照「手積み積層法」)

ひ

PVC（ピーヴィーシー）

塩化ビニルのこと。

BL 認定（——にんてい）

通産省の商品認定制度。BLマークを貼ることのできる商品は、通産省がその商品の品質がすぐれていると認めた商品に限られる。



現在は廃止されている。

B.O.D.（ビーオーディー）

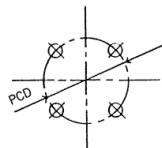
(参照「生物化学的酸素要求量」)

BC（ピーシー）

「砲金」のこと。「ソケット」式取出口の材質。

PCD（ピーシーディー）

Pitch Circle Diameter の略。同心円上に配置された孔の同心円の直径をいう。



BCP（ピーシービー）

Business Continuity Plan

事業者が、業務に支障を来し得る緊急事態が発生した際に、損害を最小限に抑えつつ業務を続行するための対応策、という意味で用いられる。重要業務を中断させないための備えでありリスクマネジメント。病院や学校に災害用タンクを設置するのも BCP 対策である。

PP（ピーピー）

ポリプロピレンのこと。

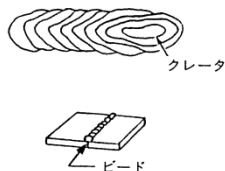
PPM（ピーピーエム）

parts per million の略。

百万分の1を意味する単位。微量物質の濃度、量を示すために用いられる。

ビード

溶接作業で母材と溶接棒とが溶けてできた細長い波形の帯、ビード面が規則正しく美しい波形をしていれば、まず良好な溶着ができたとみてよい。



ヒートパイプ

熱エネルギーをより効率よく伝送するために考案された伝熱管。構造はアルミニウムやステンレス製のパイプにガラス繊維や細い銅線束を入れた上にアンモニアなどの熱媒体を詰めたもの。媒体の気化、液化のサイクルを利用して熱を伝送していく。

ヒートポンプ

熱交換することで、冷気と暖気をつくる装置のこと。クーラーで室内を冷房した場合、室外機からは暖気が放出されている原理を利用し、夏は室内を冷やして得られた暖気を給湯などの熱源として利用し、冬は逆に外気を冷して得られた暖気を同様の熱源として利用するシステム。

ヒートポンプ給湯機（——きゅうとうき）

ヒートポンプの原理を利用し電気で湯をつくる方式。空気中の熱を熱交換器で冷媒に集め、冷媒を圧縮機でさらに高温にして高温になった冷媒の熱を水に伝えて沸かす機器。従来式の燃焼型給湯器に比べて CO₂ 排出量を大幅に削減する。

光透過（ひかりとうか）

光が物質の内部を通りぬけること。タンクの場合、光透過で藻類が増殖するおそれがあることが判明し、FRP 協会が中心となり自主基準を制定した。

（参照「照度率」）

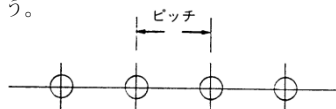
ビスフェノール樹脂（——じゅし）

耐食ポリエステル樹脂の一種。

（参照「イソフタル酸樹脂」）

ピッチ

①一般的に同じ形のものが、等間隔に並んでいるとき、その間隔をピッチという。



②石油やコールタールから精製物を取った残りかすの総称。

電気機械の絶縁材料、粘結剤、道路舗装、防水塗料などに用いる。

ピットパネル

当社 FRP パネルタンクの部品名称。底パネルの内「ドレン」取付専用パネルのこと。(参照「台形パネル」)

引張応力（ひっぱりおうりょく）

材料が外力を受けて伸ばされようとするとき、これに応じて材料内に発生する応力のこと。

ビニルエステル

耐食ポリエステル樹脂の一種。

(参照「イソフタル酸樹脂」)

現在は、ホットレージのパネル原料に使用されている。

比熱（ひねつ）

単位質量の物体を摂氏 1 度上昇させるのに要する熱量。

標準価格（ひょうじゅんかかく）

「定価」のこと。尚、「定価」は上代（じょうだい）や「末端価格」ともいう。

標準仕様（ひょうじゅんしょう）

「特殊仕様」を含まない基本となる仕様。

標準槽（ひょうじゅんそう）

(参照「仕切り槽」)

平架台（ひらかだい）

コンクリート基礎とタンクの間に設置されるタンクの受け台の内、脚が付いていないものをいう。(参照「架台」)

平鋼（ひらこう）

構造用鋼の一種。断面が長方形の鋼材。フラットバーともいう。

ビル管理法（——かんりほう）

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」の通称。

多数の者が使用する特定の建築物の維持管理に関し、環境衛生上必要な事項を定めている。

品質管理（ひんしつかんり）

Quality Control (QC)。

製品や工程に一定の品質規格を設け、全数あるいは抜取り検査などの方法でチェックし、買手の要求する品質の製品を経済的に作り出すための手段を体系づけたもの。大量生産の際には主として統計的品質管理の方法がとられる。

ヒンジ

マンホールハッチに取り付く蝶番のこと。

ピンホール

ピンで突いたような小さな穴のこと。

ふ

VLP（ヴィーエルピー）

ビニルライニング鋼管のこと。

Vコアー（ヴィ——）

当社旧 F パネルタンクのパネル接合部内部の V 字状の溝を埋めるウレタンフォームのこと。

(同意語「谷埋めコアー」)

Vノッチ（ヴィー——）

処理槽などの越流壁上部に見られる、のこぎり刃状の切り欠きのこと。
（参照「ノッチ」）

VP（ヴィーピー）

塩ビパイプのこと。一般配管に用いる。

VU（ヴィーユー）

塩ビパイプのこと。排水配管に用いる
「VP」より厚みが薄い。

負圧（ふあつ）

「正圧（せいあつ）」参照

風圧（ふうあつ）

風が物体に当たったとき、その物体の単位面積に働く圧力。

風化（ふうか）

大気中にさらされた物質が物理的および化学的变化を受けて、本来の性質を失うこと。

フート弁（——べん）

うず巻ポンプの吸込管の下端に設けて水の逆流を防ぐための弁。

深井戸（ふかいど）

深さ6～7m以上の井戸をいう。この場合、ポンプの揚水部を地表面以下に置く必要がある。

深井戸ポンプ（ふかいど——）

立て型タービンポンプで、ポンプの外径をなるべく細くし、鉄管の中に挿入した小径の羽根車を幾段にも用いる。

複合板（ふくこうばん）

FRP「単板」の外面に保温材を張り、さらにその外面に「外装板」を張り付けた構造のものをいう。（比較「サンドイッチ板」）

複式配管（ふくしきはいかん）

タンクへの入水管を分岐し、枝管の先に「ボールタップ」を取り付け、この「ボールタップ」の作動により、本管からの注水を止める配管形式のこと。（同意語「パイロット方式」「F号ボールタップ」）

蓋パネル（ふた——）

当社パネルタンクの部品名称。天板に使用するパネルのこと。

蓋リブ（ふた——）

当社旧パネルタンクの部品名称。「蓋パネル」と「側パネル」との外部接合部分に取付く、「アングル」状の補強材のこと。

ブッシング

ネジ込みソケットに取付く継手の一種。配管口径を小さくするのに用いる。

不同沈下（ふどうちんか）

基礎の強さはどこでも一定とは限らないから部分的に沈下の量が違ってくる。このように部分的に沈下量の異なる沈下を不同沈下という。

不燃材料（ふねんざいりょう）

コンクリート、れんが、瓦、石綿スレート、鉄鋼、アルミニウム、ガラス、モルタル、しっくいなどで、建設大臣が通常の火災に対して、燃焼せずかつ防火上有害な変形、溶融、亀裂その他の損傷を生ぜず、また有害な煙やガスを発生しないと認めたものをいう。

ブライン

主として空調用の冷媒であるブライン溶液を貯める水槽。冷媒槽（れいばいそう）とも呼ばれ、ブライン溶液は不凍液の一種で、マイナス温度で使用されるため、50mm 保温型でもタンク表面に結露が発生するため注意が必要。またブライン溶液は水よりも浸透力が強いいため、必要に応じて FRP ライニングを行う。

ブライ数（——すう）

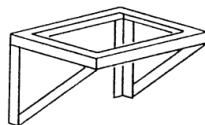
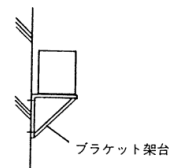
FRP のガラス繊維の積層枚数。

ブライン水槽（——すいそう）

主として空調用の冷媒であるブライン溶液を貯める水槽。冷媒槽（れいばいそう）とも呼ばれ、ブライン溶液は不凍液の一種で、マイナス温度で使用されるため、50mm 保温型でもタンク表面に結露が発生するため注意が必要。またブライン溶液は水よりも浸透力が強いいため、必要に応じて槽内接合部に FRP ライニングを行う。

ブラケット架台（——がだい）

図の構造の架台をいう。主として膨張タンクなど 1,000ℓ未満の小型タンクに用いられる。



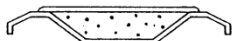
ブラコートボルト

当社製、樹脂被覆ボルトの呼び名。パネルタンクを組立てるボルトの一種。ボルトとナットの両方を樹脂で被覆し防錆処置を施したもので気相部など内側の空気に触れる部分に使用する。



フラット加工（——加工）

旧 F パネルの「ダイヤカット」内面のへこみ部分を埋め、フラットに加工すること。主としてアイスレージやホットレージの底板に利用していた。



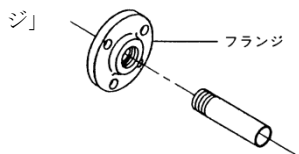
フラットパネル

当社パネルタンクの部品名称の一つ。模様の無いフラットなパネルのこと。

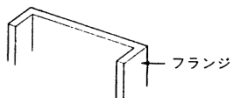
フランジ

①配管継手の一つで、図の構造のものをいう。

（参照「JIS-10kg フランジ」「相フランジ」）

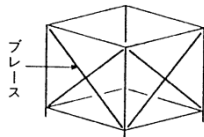


②折り曲げることで、強度を持たせた構造のもので図の部分をいう。



ブレース

斜めに取付けた補強材のこと。「斜材」「筋建」に同じ。



フレームアングル

「外補強」方式のパネルタンクの部品の一種。「サイドフレーム」を「側パネル」に取付けるための「アングル」状の金具。

フレキ

フレキシブルジョイントの略で「可とう継手」のこと。

フロートスイッチ

水槽内部に設置される。フロート(浮子)が水面の上下に応じて上下し、それに伴い電源の入切を行い、ポンプの制御を行うもの。

フローチャート

流れ図ともいう。一定の手順で行われている情報処理や事務処理の処理手順を分かりやすく図式したもの。

プライマー

下塗りに用いる塗料の総称。

分離発注（ぶんりはっちゅう）

施主が「建築工事」と「設備工事」を分けて発注すること。

（反対語「一括発注」）

分電盤（ぶんでんばん）

「配電盤」に同じ。

pH 値（ペーハー——）

pH 7 は中性、pH 7 より値が小さくなるほど、酸性が強くなり、値が大きくなるほどアルカリ性（塩基性）が強くなる。

閉止フランジ（へいし——）

水の出入りを止めてしまうためや、蓋をするための「フランジ」。

平面異形（へいめんいけい）

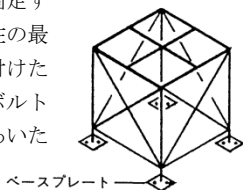
上から見た形が「異形」であるタンクのこと。（参照「異形タンク」）

平面図（へいめんず）

上から見た形を図にしたもの。

ベースプレート

「高架台」や「鉄塔架台」をコンクリート基礎に固定するため、柱の最下端に取付けたアンカーボルト用の孔があいた鉄板。

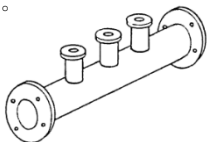


べた基礎（——きそ）

「基礎」参照。

ヘッダー

複数の配管系統を分岐させる目的で設置する取出し主管。



ヘッド

- ①「水頭」。（参照「水頭圧」）
- ②落差。
- ③揚程。

ヘッドブロック

旧「外補強」方式の FRP パネルタンクの部品名称。「仕切りフレーム」の上部に取付く部材。

ヘヤクラック

毛髪程度の細いひび割れ。

ペンシルビル

狭い敷地に建てられた高さの高いビル。

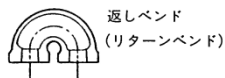
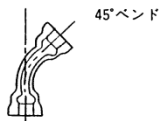
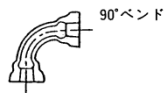
ベンチマーク基準点。施工にあたって主として建物の水準高さを決める原点。

ベンチレーター

建築物の屋上に設ける換気筒。室内から屋上に筒を立て上げ、浮力または風力による吸引作用を利用して換気する。

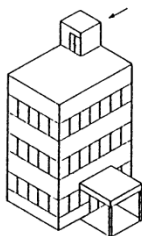
ベンド

管継手の一種。比較的曲率半径の大きいものをいう。曲がりは一般的には90°であるが、45°の場合を 45°ベンド、180°の場合を返しベンド（リターンベンド）という。尚、曲率半径のいちじるしく小さいものは「エルボ」という。



ペントハウス

「塔屋」のこと。



ほ

ホイスト

天井に取付けられ、レールにぶら下がり、車輪を動かすことで自由に位置を変えることのできる重量物吊り揚げ装置。

ボイド

「紙管」「スリーブ」に同じ。

防火水槽（ぼうかすいそう）

公園や道路など消防が消火のために使用する水（消防水利）をエリア毎に区画し貯蔵する水槽。水槽は消火用水を貯めるため、材質・大きさ・設置場所等は全て消防法（各所轄などの指導）に従う必要があります。それ故、材質については、不燃材である鋼板が主として用いられています。

砲金（ほうきん）

青銅の一種。銅と錫、亜鉛の合金で、铸造性が良い。「BC」に同じ。

放射冷暖房空調

（ほうしゃれいだんぼうくうちょう）

空気を介さず温度が高いほうから低い方に移動する熱の特性を利用した冷暖房方式。

天井の放射パネルに夏期は、冷水を流し冷やされた天井からの放射によって、人体からの熱や室内壁かべの熱を吸収する。冬期は、温水を流して天井面を温めると人の体表面から熱放射量が少なくなり暖かさを感じる。



防振架台（ぼうしんかだい）

振動や騒音の発生源となる機械を、弾性体で適当な粘性摩擦を持つゴムや金属バネの両面を鉄板で貼り付け、上下からボルトを巻き込んだ防振材料を使って架台を組み、基礎上に機械を据え付けて、振動エネルギーを建物に伝えないようにする架台のこと。

防虫網（ぼうちゅうもう）

昆虫類のタンク内部への進入を防ぐため、「通気口」内部に取付けられた網のこと。当社の材質仕様はサランが標準。

膨張口（ぼうちようこう）

「膨張タンク」に取付けられる「取出口」の名称。ボイラーからの膨張した温水の入口。

膨張水槽（開放型）

（ぼうちようすいそう（かいほうがた））

給湯系統や冷暖房・空調系統で水が加熱又は冷却されると体積が増減し配管内の圧力変動により配管、設備機器など破裂等の恐れがあるため、膨張容積を吸収し、回路内の圧力を一定にするための水槽である。水槽には密閉型と密閉型があり当社で扱っている水槽は、開放型である。

膨張タンク（ぼうちよう——）

加熱によりボイラー内の圧力が一定値を越えた時に、ボイラーや配管類の破損を防ぐために膨張した高温水を受け止める働きをするタンクのこと。

（同意語「エキспанションタンク」）

防波筒（ぼうはとう）

タンク内部への注水時に発生する波のため、「電極棒」どうしが接触し、誤作動することを防止するため、全ての「電極棒」を包むパイプのこと。尚、材質の標準は、塩化ビニル、他に「オブション仕様」で透明塩ビがある。

防波板（ぼうはばん）

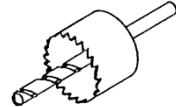
入水時に発生する波により「ボールタップ」の浮玉が揺れることを防止するため、「ボールタップ」を取り囲むようにタンク内部に取付けられる板をいう。

ボーリング

地盤調査の一方法。地中深くパイプを打込んで地下の土を取り出し、その性質を検査し、地中の状態を調べること。さく泉（さくせん）工事ともいう。

ホールソー

電動ドリルで大口径の孔を開けるときに使用する切削道具。



ボールタップ

水面に浮いた浮玉が、上に上がることでタンク内部への注水を止める働きをする弁のこと。

（参照「浮き玉」）

保温筒（ほおんとう）

パイプの保温に用いるため円筒を二つ割にした保温材。これでパイプを包んで、その上から布などで巻く（「ラッキング」）材質には、発泡スチロールやウレタンフォームなどがある。

保温工事（ほおんこうじ）

パイプやタンクをガラスウールなどの保温材を用いて保温する工事をいう。

（参照「ラッキング」）

補強アングル

当社パネルタンクの部品名称。側パネルの接合部を外側から補強する「アングル」状の金具。

保護管（ほごかん）

「レベルゲージ」のパイプを保護する二ツ割になったパイプのこと。

ボックスフレーム

「外補強」方式に同じ。

ホットレージ

当社商品名。「開放型耐熱FRPパネル製貯湯槽」の総称。登録商標。

ボトムブロック

当社パネルタンクの部品名称。「外補強」方式のパネルタンクの補強材「サイドフレーム」の下部に取付く金具をいう。
（参照「ヘッドブロック」）

ホルムアルデヒド（ホルマリン）

プラスチックや合成樹脂から大気中に放出される。環境水中では工場排水やプラスチック類からの溶出が由来とされる。水道水中ではオゾン処理などの酸化処理で生成される。

本足場

足場架構法の一種。建地、布、腕木筋かいからなり、腕木上に足場板をかけ渡して作業床とする。



ポンチ

穴を打抜くために用いる工具。

ポンチ絵（——え）

品物をフリーハンドで書いた略図のこと。

ポンプ室付受水槽

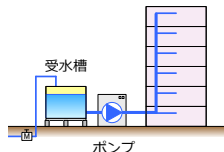
（——しつつきじゅすいそう）

受水槽とポンプ室をパネルの組み合わせで一体設計したもの。FRP製パネルとステンレスパネルタイプがあり所轄自治体の設計指針に準じて選択できる。

ポンプ直送方式

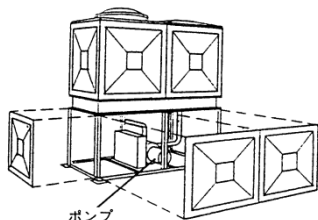
（——ちようそうほうしき）

地上付近に設置した受水槽で水道を貯留し、ポンプで加圧して、各階へ給水する方式。ポンプの吐出圧力が一定となるように、ポンプの流量を制御する。



ポンプユニットタンク

一般的には図のように「高架台」の内側に、「自動給水装置」をセットした「受水槽」のこと。



ま

マーケティング

生産から消費まで、商品を流通させるための一切の活動をさしていることば。市場活動、市場調査などの語があてられているが、これらの全てを包括する言葉と考えてよい。

膜分離槽（まくぶんりそう）

排水処理槽の一種で、槽内に設置した膜（フィルター）で、きれいな水を分離排出するタンク。膜を通過できない物質（汚泥）は槽内に残り濃縮される。

枕基礎（まくらきそ）

「下駄基礎」に同じ。

孫（まご）

レッカーや「ユニック」車のアームを最大限延ばす為に、アームの先端に取付ける延長用補助アームのこと。

マシーンハッチ

重量物や大型の機械類を階下に搬入する為に、床に設けられた開口部のこと。

豆板（まめいた）

コンクリートの表面に砂利がかたまって豆板状になった部分をいう。

（同意語（巢））

警報（まんすいけいほう）

タンク内への注水が止まらず、水位が異常に高くなっていることを知らせるための警報。5極の電極の場合、最も短い棒が満水であることを感知する。

（参照「電極座」）

マンセル値（——ち）

色相を示すアルファベットと数値の記号。（比較「日本塗料工業会」）

マンセルの色相体系

（——しきさいたいけい）

色の性質を説明し、その表示方法を規定したもの。色相、明度、彩度の色の3属性を3方向に立体化したもので、広く一般に利用されている。表示のしかたは、色相をRからRPまで10種に分け、理想的な黒を0/とし理想的白を10/としてこの間を分割し、明度を示し、無彩色を0/として彩度を示す。例えば2.5Y8/12は鮮やかな黄色、5YR4/3はセピアを示す。

みず水（——いと）

水平線を指示する為に壁などに一直線に張り付けた糸のこと。

水切り（みずき——）

雨が側壁に伝わるのを防ぐために、窓やガラリ下部に取付ける部材をいう。

水電解装置（みずでんかいそうち）

受水槽に溜まっている水の塩素濃度を維持する装置。夏休み等で長期間水を使わない学校や、塩素濃度が下がってはならない病院などに採用されている。但し、本装置は、あくまで再生装置であるため、最低0.1mg/L以上の塩素が無いと再生せず、井戸水等であらかじめ塩素を含まない水には対応できない。

溝型鋼（みぞがたこう）

「チャンネル」に同じ
（参照「形鋼」）

みち板（——いた）

「足み板」に同じ

ミリサイズ

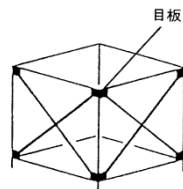
長さを示す単位のこと。この場合はミリメートル（mm）で表示する。

ミルシート

材質の試験成績書及び原料配合証明書。
（参照「溶融亜鉛鍍金」）

目板（めいた）

鋼材の接合部にあてがう補強板。



銘板（めいばん）

「型式」「機種」製造番号、耐震仕様などを記入したネームプレートのこと。

メーカーリスト

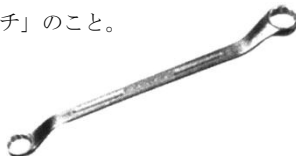
建築物の設計図書の初めの部分に記載され、建築に必要な機器類のメーカー名を一覧表にしたもの。設備業者はこのメーカーリストに記載されたメーカーの商品を購入し設置しなければならない。
（参照「設計折込」「指定運動」）

メートルネジ

ネジ山の角度が60°の三角ネジの一種。JISに規定されている。

めがね

①ボルトを締めるのに用いる「メガネレンチ」のこと。



②水平を計測器（トランラット）の俗称。

目地（めじ）

- ①建築部材の接合端に生ずる線状の部分。
- ②石やタイルを貼る時にできるつぎめ。

メタリコン法

金属を溶解し、高圧空気で霧状にして吹き付け皮膜を形成させる方法、耐食または装飾を目的とする。

メッシュ

網のこと。

免震構造

地震時に構造物に伝わる振動をその接点で取り去る構造。例えば、粘着性の高いゴムを建築物の下部に設置する。

メンテナンス

保全、維持、保存のこと。機器、機械などの性能を維持するため保守管理すること。

面間距離

フランジなどが平行な2平面向い合った時の、各々のフランジ面の距離をいう。

も

もっこ

数多い小物を吊り揚げるときや、円形のものとか、掛けどころのないものなどを吊り揚げるときに用いる四角の網。



モデュール

各種設計の基本となる基準寸法のこと。

盛り替え（も——か——）

工事の進捗とともに足場、支保工などの仮設物や施工機械の位置を移し替えること。

モルタル

セメントと砂を水で練ったもの。れん瓦やコンクリートブロック積のとき、目地に敷いて接着させ、また、コンクリート壁や木造建築のうわ塗りに使われる。木造建築のうわ塗りのとき、金網を張って、その上に塗る工法を鉄鋼モルタル塗りという。

モルタル防水（——ぼうすい）

モルタルを主材料にし、防水剤などを混入して施工する防水層をいう。

モンキーレンチ

ボルトやナットの寸法に合わせ、挟み込み寸法を自由に変えることができるスパナのこと。略してモンキーと呼ぶ。



や

薬液槽（やくえきそう）

塩酸や硫酸といった薬品を貯めるタンク。それ故、主に化学工場等のプラント設備に用いられる。ケミカルタンクともいう。使用には慎重な検討が必要の為、内用液の確認が重要。

矢視（やし）

図面の表現方法のひとつで、断面表示した箇所を示すしるし。

山形鋼（やまがたこう）

形鋼の一種。構造用鋼で等辺山形鋼と不等辺山形鋼の2種がある。「アングル」に同じ。

（参照「形鋼」）

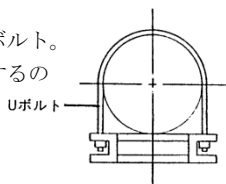
ヤング率（——りつ）

「弾性係数」に同じ。

ゆ

Uボルト

U字型をしたボルト。パイプを支持するのに用いる。



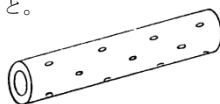
有機溶剤（ゆうきようざい）

他の物質を溶かす性質を持つ有機化合物の総称であり、様々な職場で、溶剤として塗装、洗浄、塩ビ管接合材等の作業に

幅広く使用されている。有機溶剤は常温では液体だが、一般に揮発性が高いため、蒸気となって作業者の呼吸を通じて体内に吸収されやすく、また、油脂に溶ける性質があることから皮膚からも吸収される。保管量により作業方法も異なってくるので注意の事。

有孔管

小さな孔が一定の間隔であいているパイプのこと。



有効換気量（ゆうこうかんきりょう）

室内を衛生的に保つために供給すべき新鮮空気量を1時間につき㎡の単位で予測したもの。

有効容量（ゆうこうようりょう）

タンクの実際の貯留能力を示す数値。

（比較「呼称容量」）

遊離塩素（ゆうりえんそ）

飲料水に含まれる雑菌を消毒するために使用された塩素が、気体となって遊離したもの。

油性ペイント（ゆせい——）

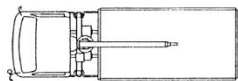
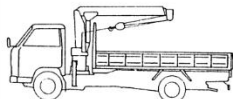
顔料を乾性油で練り、これに伸展剤や乾燥剤を加えた塗料のこと。一般にペンキと呼ばれるものは殆どが油性ペイントである。

ユニクロ

鍍金（メッキ）種類の一つで、電気メッキのこと。

ユニック車

小型クレーンを取り付けたトラックのこと。



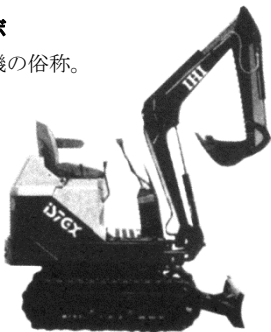
ユニバーサルソケットレンチ

ナット締結工具の一種。ナットをつかむ部分が自由自在に動く。パネルタンクの組立作業に用いる。



ユンボ

掘削機の俗称。



よ

揚重（ようじゅう）

物を吊り揚げること。

養生（ようじょう）

- ①物が汚れたり傷付かないよう、シートやベニヤ板などをかぶせて保護すること。
- ②コンクリートが固まるまでのこと。（養生期間）

養殖槽（ようしよくそう）

魚の養殖設備用などで、水質や温度を管理された水を貯めるタンクのことである。

揚水（ようすい）

高い場所までポンプで圧送された水をいう。

揚程（ようてい）

水をポンプで圧送することができる高さをいう。

溶融亜鉛鍍金（ようゆうあえんめっき）

亜鉛メッキの正式名称。

タンクに関しては、JIS-H-8611-2 種-35（1㎡当たり、片面 350g 以上付着量）が基準。尚、官公庁物件の場合、納入後「ミルシート」を要求されることがあるので注意。（同意語「どぶ漬け鍍金」）

横持ち（よこも）

「縦持ち」参照。

呼び水（よびみず）

ポンプの起動時に空気が入り込まないようポンプに注入する水のこと。

呼水槽（よびみずそう）

消火水用ポンプは、通常運転を停止しており、火災発生時に作動します。ポンプが、最初の作動時に水を吸い込まずに空気を吸い込むと、水が正常に圧送出来なくなります。そこで、消火ポンプの作動に必要な呼水を貯めているのが呼水槽である。

四週圧縮強度

（よんしゅうあっしゅくきょうど）

セメントやコンクリートの試験で、できてから4週間後の圧縮力に対する強さをいう。一般に、コンクリートの強さは4週圧縮強度を標準とする。

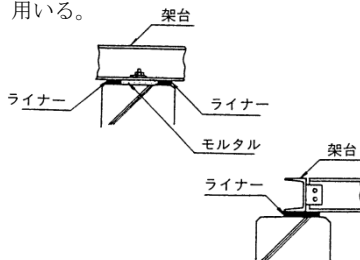
ら

ラーメン構造（——こうぞう）

建築物などで部材が各接点で剛接合されている骨組みをいう。基本的な骨組み構造として広く用いられている。ラーメンとはドイツ語で枠という意味。

ライナー

隙間に挟み込む薄い板のこと。主としてコンクリート基礎と架台との間に挿入し、水平度を調整したり、隙間を埋めるのに用いる。



ライニング

表面に定着した被膜により、母材の摩擦を減じたり、耐食、耐酸、耐摩耗や高熱を避けることができる。コーティングと類似した意味合いであるが、覆っている物質の厚み等で区別されることが多い。厳密な厚みによる区別だけでは無く、使われる分野によりライニングとコーティングとの区分けが異なる。一般的にはライニングの方が膜厚が厚い。

ライニング鋼管（——こうかん）

パイプ内部を樹脂で「ライニング」した鋼管をいう。（例「VLP」など）

ライニングボルト

主として取出口の取付に用いる。当社パネルタンクを組立てるボルト類の一種。ボルト頭部をゴムで「ライニング」してある。「ブラコートボルト」と混同せぬ様注意。

ラチェット

ボルトを締める道具で、反対方向に回わすときには空回りする機械がついたものの。

ラッキング

「保温工事」で、保温材の外側を薄い板で被覆すること。

ラップ管（——かん）

パイプ上端がラップの先端のような形をしたタンク内部立上がり管のこと。

ランニングコスト

機械などを稼働させたときの、ある一定の期間の諸費用のこと。

(比較「イニシャルコスト」)

リ

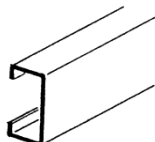
リーマ

予めドリルであけた穴の直径を正しい寸法にし、かつ穴の内面を美しく仕上げるために用いる工具。



リップ溝型鋼（みぞがたこう）

断面が図の構造の鋼材をいう。「外補強」方式のパネルタンクのサイドフレームに使用する。
(参照「軽量型鋼」)



立面図（りつめんず）

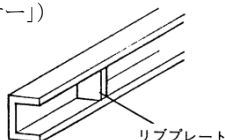
物体を正面から見たときの図。

リビジョン

図面修正のこと。図面記号は△印で、△印内の数字は訂正回数を示す。

リブプレート

構造物の変形防止のためにつける補強材。
(同意語「スチフナー」)



リボンシーラー

当社パネルタンクのシール材の一種。旧Fパネルタンクに使用していた「コーナーブロック」に巻きつけて水封けする。

リューベ

体積の単位。「 m^3 」立法米（リッポーメートル）のことを略して立米（リューベ）と呼んでいる。

流量（りゅうりょう）

- ①ある場所から他の場所へ流れ出る量。
- ②流路の断面上を単位時間に通過する流体の体積。

流量調整槽

（りゅうりょうちようせいそう）

工場などの生産設備では、排水される水量や汚れ度合いの変化が大きく、排水処理設備は時間あたりの処理できる能力が一定。そのため1日分の排水を貯めることができるようにしたタンクのこと。排水を貯めておくこと腐敗して臭気が発生するため、槽内に空気を送りこむこと装置を設ける場合もある。

輪木（りんぎ）

仮置きするときに物の下に敷く枕木をいう。

る

ルーティンワーク

繰り返し行われる日常の仕事。

ルートセールス

流通経路を利用して商品を販売すること。

ルーバー

通風上の屋上やぐらで、鎧戸のような形の囲いのこと。

ルーフドレン

屋上に降った雨水を集めて、立てどいに流す排水口。

ルーフフェンス

タンク天板に取付けた転落防止のための柵。

れ

冷温水槽（れんおんすいそう）

「冷」「温」双方の溶液を貯留するタンクのこと。

冷却塔（れいきゃくとう）

空調用等の冷凍機から返送される熱交換後の温度の高い水を空気で冷やす機器。

冷水槽（れいすいそう）

主として、冷房用の冷水を貯めるのに用いる。このタンクの外面は、内外の温度差により結露発生の可能性があり、高い断熱性が必要で、保温（25mm、50mm）型が使用される。

冷凍機（れいとうき）

冷媒によって低温を得、液体を冷却または冷凍させる機械を総称している。

冷媒（れいばい）

低温を媒体する物質。

レジオネラ菌（——きん）

温泉タンク、給湯タンクの温水槽に関連する。レジオネラ属菌（レジオネラ）とは、土壌や河川、湖沼など自然界に生息する「細菌」の一種。空調設備の冷却塔水、循環式浴槽水、給湯器の水などに生息するバイオフィーム（生物膜）などに寄生、増殖する。循環式浴槽など水（湯）が停滞する「41 度前後」（一般細菌よりも少し高い）の環境で増殖しやすく、水中の微粒な菌が、シャワー、湯気により空間中に飛散・霧状（エアロゾル）となり、それを人間が吸い込み「呼吸器より肺」に感染するとされている。

レジューサー

「異径ソケット」に同じ。

劣化（れっか）

本来あるべき品質性能が低下すること。

レディミストコンクリート

「生コンクリート」に同じ。

レベル

- ①水準、水準線。
- ②「水準器」に同じ。

レベルゲージ

「液面計」に同じ。

レベルコントロール

タンクの場合、水位を調整し任意にコントロールすること。

（参照「電極座」）

連通口（れんつこう）

複数のタンクを連結し、水位を等しくするために取付ける「取出口」をいう。タンク下部に取付ける。

れんつうバルブ

2槽式水槽に必要な連通管を水槽内部に装備できるオプション商品。

現在は廃番となっている。

ろ

労災保険（ろうさいほけん）

労働災害補償保険の略。労働中または通勤中に災害に合った場合、各種の補償を行う社会保険。

労働安全衛生規則

（ろうどうあんぜんえいせいきそく）

労働基準法に基づくもので、建築に関係あるものとしては、建物の用途、規模、構造や工事現場などについて、労働者のための、安全および衛生の基準を定めている。

労働基準法（ろうどうきじゅんぽう）

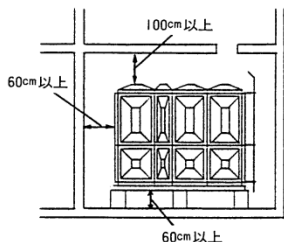
労働者保護を目的として、労働者が人に値する生活を営むために必要な労働条件の最低基準を定めた法律。

ローバル

亜鉛メッキの液体補修剤。

六面点検（ろくめんてんけん）

角型タンクの天、底、胴板、六面全てが、肉眼で点検できるだけのスペースを十分とってタンクを設置すること。尚、このことは、建築基準法に定められており、タンクの設置に関しては、図の規制がある。



ロックウール

岩綿ともいう。安山岩、玄武岩、蛇紋岩などを熔融し、それを吹きつけ繊維状としたもの。保温材、吸温材に用いる。

露点温度（ろてんおんど）

ある温度の湿気を含んだ空気を水蒸気量が変わらないようにして、徐々に冷却していくと湿度 100%の飽和空気の状態に達する。この点の温度を露点温度という。この露点温度以下になると「結露」を生ずる。（参照「結露」）

ロングリフト

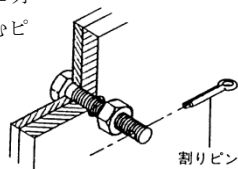
建築工事現場にあり、高所運搬を行うための電動ゴンドラ。尚このロングリフトの使用に際しては、建築業者や設備業者の許可を貰うと共に、その運転には特に注意をすること。

割引（わりびき）

「約束手形」を支払期日を待たず、利息を差し引いて現金化すること。

割りピン（わー）

欠落防止のために明けた孔に差し込むピン的一种。



割フランジ

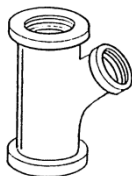
配管形態の都合で、二分割した「フランジ」継手のこと。

わ

Y継手（ワイつぎて）

Y字形の管継手。

2辺の角度が 90°のものと 45°のものがある。



45°Y

ワッシャ

「座金」に同じ。

FRP給水タンク関連用語集

令和元年10月 第4版1刷発行

発行 積水アクアシステム株式会社

編集 積水アクアシステム株式会社
タンクシステム事業部
業務標準化プロジェクト

〈許可なしに転載、複製することを禁じます。〉